

PLAYS

800 / 1000

取扱説明書

このたびは、シマノ PLAYS 800/1000 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上のご注意	2
特長	8
デジタルカウンターの各部の名称	11
各機能の設定操作	12
各部の名称	16
電源とケーブルについて	18
学習方法	20
学習モード一覧	21
学習方法 1. 簡単・便利な NEW SLS III PE ライン学習 (E1)	22
学習方法 2. 簡単・便利な NEW SLS III ナイロン・フロロ学習 (E2)	24
学習方法 3. 簡単・便利な NEW SLS III 下巻き学習 (E3)	26
学習方法 4. 従来の SLS II PE ライン学習 (L1)	30
学習方法 5. 従来の SLS II 下巻き学習 (L2)	32
糸巻学習後の手順	36
色々なテクニック	39
0 (ゼロ) セットの設定	40

高切れの補正	42
S A-RB	43
船べり自動停止	43
アラーム (船べり)	44
棚または底の水深をメモリーする方法	45
2 通りの棚の取り方・上からモードと底からモード	46
上からモードの実釣編	47
底からモードの実釣編	48
2 通りの巻き上げ方・楽楽モードと速度一定モード	49
フカセモード	51
糸巻学習補正	52
お取り扱い上の注意	54
仕様	59
故障かな?と思われたときは	60
製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内	62
サービスネット	63

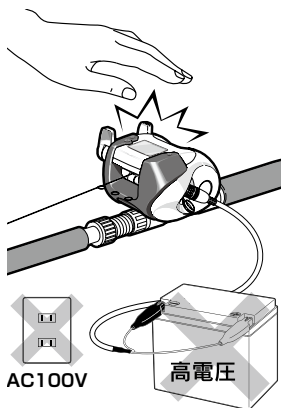
ご使用前に必ずお読みください。

警告



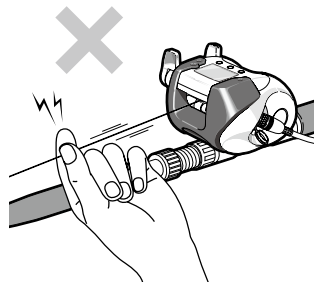
高温注意

- バッテリー、船電源の所定電圧（DC 12～14.8ボルト）以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが発熱し、カウンター部の電子部品の破損や、手を火傷する恐れがあります。
- 家庭用交流電源につながらないでください。回路が破損し発火発煙の恐れがあります。
- 電源コネクターやワニ口クリップに異常な発熱があった場合は、使用中を中止してください。



巻き込み注意

- 糸が勢いよく出ている時、又は、糸を巻いている時に糸を掴んだりしないでください。糸で指を切ったり切断する恐れがあります。



警告



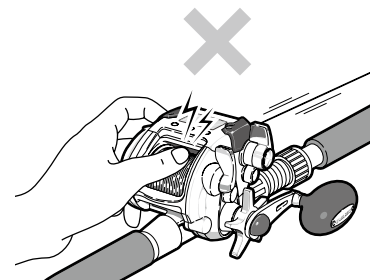
警告

- 電動リールのブレーカーが何度も作動するような場合は、対象魚/シカケの負荷に対して電動リールの仕様が適合していないと考えられます。そのままご使用になられますと、モーターやカウンターユニットが異常な発熱を起こし、焼損する場合があります。この場合は電動リールの番手を上げてご使用ください。





回転物注意

- 指を本体とスプール等の回転部に差し込まないでください。指を怪我したり、切断する恐れがあります。



警告

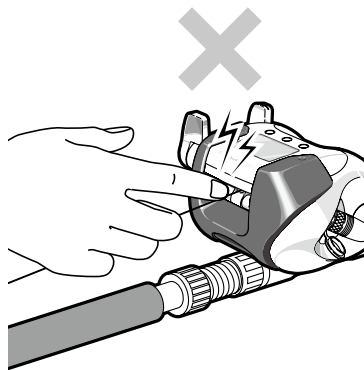
- 船電源、鉛バッテリー等をご使用になる場合は低電圧でご使用にならないようお願いします。デジタルカウンター表示部にバッテリーマーク（または）が点灯、点滅している状態で、高負荷巻き上げ（大電流が流れる）を行いますと、デジタルカウンター内部の電子部品が破損し、レンズが飛び出る場合があります。

警告



指をはさまれないよう注意

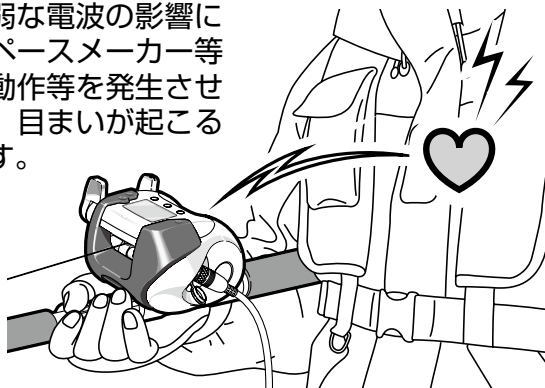
- 糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、怪我をする恐れがあります。指をはさんだ場合は電源をOFFにし、電動リールを解体してください。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをする恐れがあります。



- 電動リールの微弱な電波の影響により、補聴器・ペースメーカー等の医療機器に誤動作等を発生させて使用者に動悸、目まいが起こる場合がございます。



警告

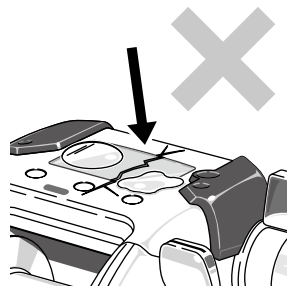


警告



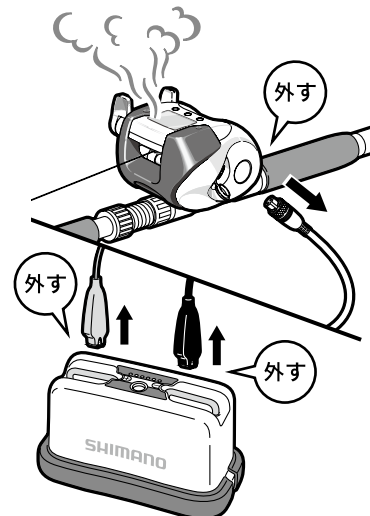
警告

- カウンターレンズ内側に水滴や曇りが見られた場合は直ぐにケーブルを外してください。そのまま使い続けると、誤動作し穂先を折ったり、破片で怪我をする恐れがあります。
- 電動カウンターのレンズやケースにヒビ割れ、クラックがある場合は使用を中止してください。水が内部に侵入するとショートして回路が破損し、モーター制御が出来なく恐れがあります。



警告

- 電動リールやカウンター表示部から焦げ付いた匂いや煙、異常な発熱が出た場合は直ぐに使用を中止してください。そのまま使い続けると発火発煙の恐れがあります。
- 巻き上げが止まらない場合は直ちに電源コネクターを外すか、バッテリーからワニ口クリップを外してください。

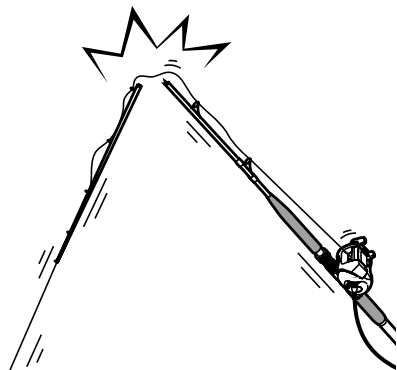
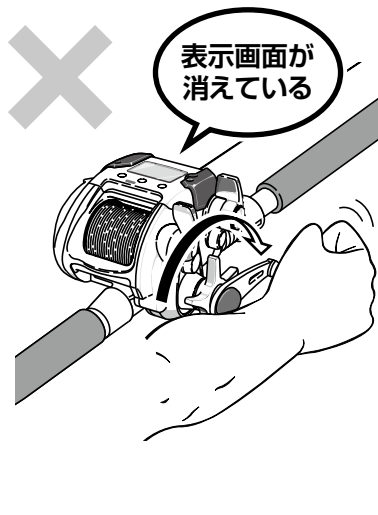


⚠ 注意



注意

- 電動リールをご使用中、表示画面が消えた時にリールのハンドルを使用し巻き上げると、正常にラインのカウントが出来ません。（※ラインとカウント表示に誤差が発生します。）そして表示画面が復帰後、電動リールのモーターで巻き上げると船べり停止が出来ず、仕掛け巻き込みの原因となります。場合によっては穂先を破損する可能性がありますので、表示画面が消えた場合はその原因を取り除き、表示画面が復帰した後でライン回収を行ってください。



⚠ 注意



注意

- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



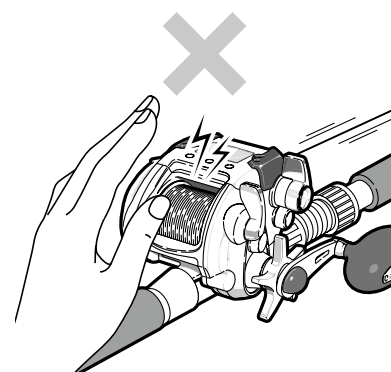
注意

- バッテリーマーク（**B**または $\left[\begin{array}{c} \text{I} \\ \text{II} \end{array} \right]$ ）が点灯、点滅している場合はバッテリー電圧が低下しており、電動リールの性能を十分に発揮できないだけでなく、モーター、カウンタユニットに負荷が加わり故障の原因となる場合がありますので、使用を中止し十分に充電したバッテリーに交換してご使用ください。



回転物注意

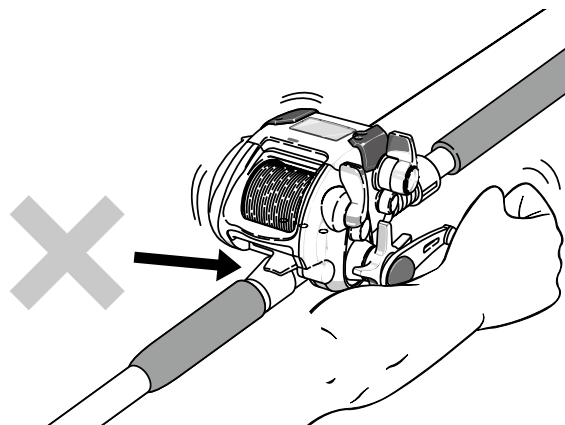
- 回転しているスプールに触れないでください。けがをする恐れがあります。



⚠ 注意

⚠ 注意

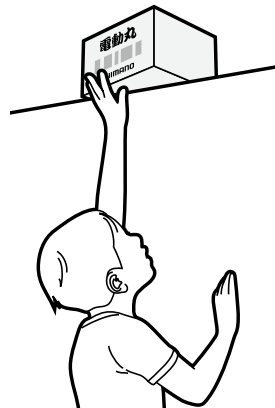
- 電動リールはリールシートにしっかり固定してご使用ください。ガタ付きがある場合や固定出来ない場合は、ご使用を控えてください。釣行中に外れたりすると、怪我を負う恐れがあります。



⚠ 注意

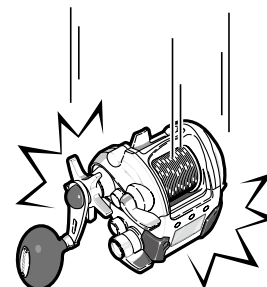
⚠ 注意

- 幼児の手の届く所では、保管、使用しないでください。



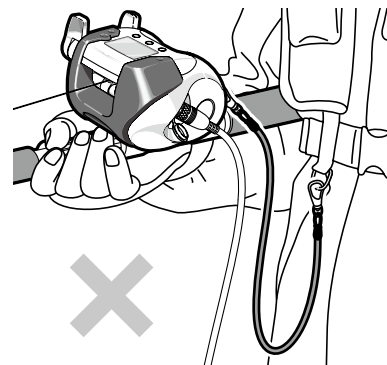
⚠ 注意

- 落下等の衝撃によりカウンターが破損し、誤動作する恐れがあります。強い衝撃が加わらないようにしてください。



⚠ 注意

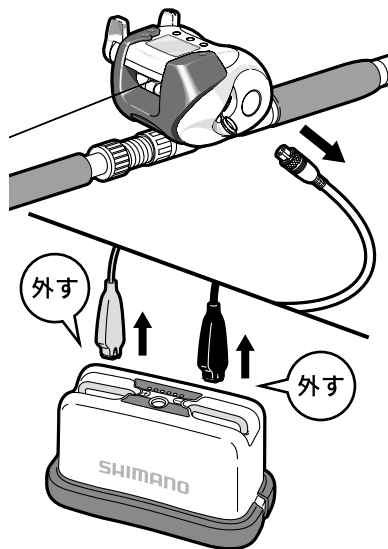
- ケーブル等を身体に巻きつけたりしないでください。魚のヒキによっては海に落ちる可能性があります。



⚠ 注意

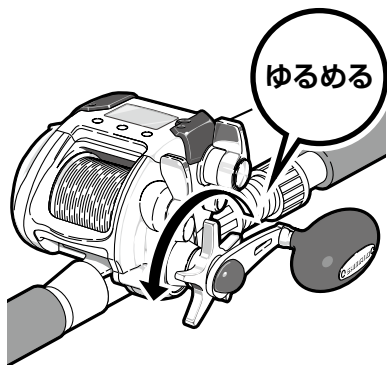
⚠ 注意

- 釣行後に電動リールをメンテナンスをする場合は、必ずケーブルをバッテリーから外して行ってください。急にスプールが回りだしたりすると、怪我や電動リールの破損の恐れがあります。



⚠ 注意

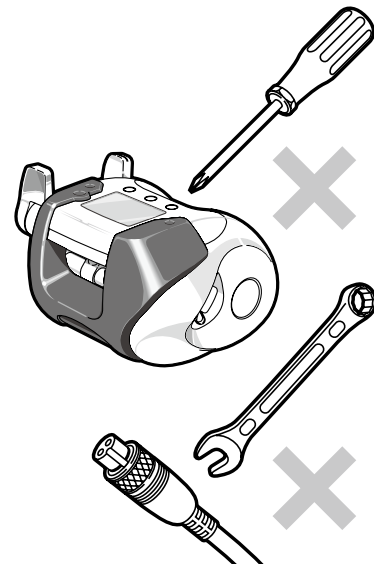
- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分にゆるめてから接続してください。故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



⚠ 注意

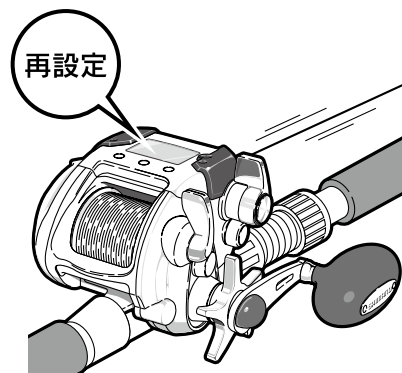
⊘ 分解禁止

- 本体を改造したりしないでください。電動リールの性能を損ない、安全機能が働かなくなり怪我をしたりする恐れがあります。
- ケーブルの改造はしないでください。電動リールの性能を損なったり、発熱や発火する恐れがあります。



⚠ 注意

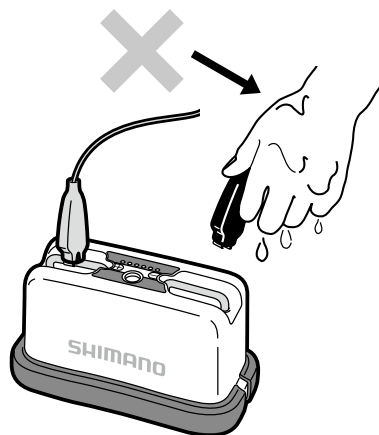
- 船べり停止位置は巻き上げ張力等によってズれる事があります。停止位置がズれてきた場合は「0セット」して補正してください。停止位置がズれると竿の穂先を折ったりする恐れがあります。



⚠ 注意

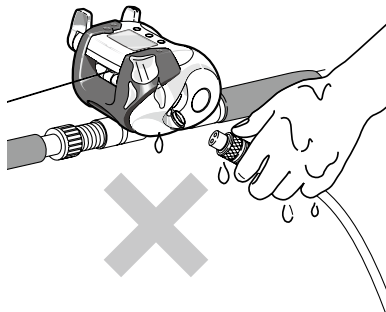
⚠ 注意

- 濡れた手でケーブルのワニ口クリップの金属部やバッテリー、船電源の端子を触らないでください。感電する恐れがあります。



⚠ 注意

- ケーブルを電動リールに接続する時は、端子部が濡れていない事を確認して接続してください。濡れていると海水によりショートと発火、発煙し火傷する恐れがあります。



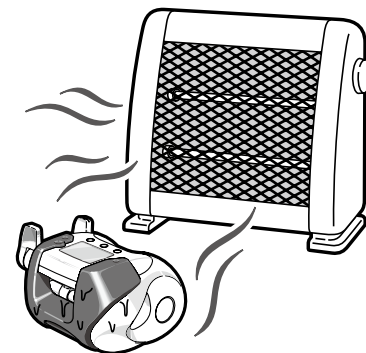
注意

- 根掛かりした時は竿をあおらず、糸をロッドキーパーや、しっかりとした船べりに巻きつけ、船で糸を切るようにしてください。

⚠ 注意

⚠ 注意

- メンテナンス後にドライヤーや発熱器具を使っての乾燥は止めてください。樹脂が変形したりする恐れがあります。



モーターの誤作動についてのご注意

- 落下等の強い衝撃により表示部に破損やクラックが起こり内部に海水が浸入した場合、モーター制御が出来なくなる事があります。
突然、糸を巻き上げる等の誤作動により怪我をする可能性がありますので、表示部のクラックや破損を発見した場合は、ケーブルを抜いて即座に使用を中止し、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。またお近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄の営業所へお問合せ下さい。
- 本電動リールの使用電源保証範囲はDC 12～14.8Vまでです。これより大きな電源や家庭用交流電源等を使用した場合、表示部の電子回路が破損しモーター制御が出来なくなります。
また、発煙発火の可能性もありますので、必ず使用電源をご確認の上、使用してください。

特長



糸ふけを取る時やさそいをする時に…

チョイ巻。 P11～12参照
ボタンを押している間、電動で巻き上げることができます。



電動巻き上げ時にピタッと止めたい時に…

チョイ止 P11参照
電動巻き上げ中に、ボタンを押している間、電動巻き上げをストップすることができます。



頻繁な底取り操作も親指一本で自由自在。
リールを握ったままの操作を可能にします…

クイックリターンクラッチ搭載 P17参照



コマセ振りや仕掛け回収のタイミングを計る目安に…

棚タイマー。 P11参照
仕掛けが目標の棚に到達してからの経過時間を表示します。



糸落のスピードを安定させ、釣果UPに…

糸落スピードの目安を表示。 P11参照



穂先への仕掛巻込防止機能・アタリをお知らせ…

フカセモード。 P15・51参照
フカセモード時は「仕掛巻込防止機能」、「アタリ検知アラーム」の2つの機能が有効になります。



錆、塩噛みに強いボールベアリング…

シールドタイプS A-RB内蔵。 P43参照
従来のA-RB（アンチラストベアリング）の側面に防錆素材でシーリングし、塩分の浸入を減少させたS A-RBを適材適所に配置したことにより更なるスプールフリーが実現！ A-RB処理による防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による「塩噛み」をも減少させています。



2種類の巻き上げ方法を状況に応じて選択可能な…

「楽楽モード」「速度一定モード」切り替え。 P49～50参照
ラインテンション一定の「楽楽モード」と、スプール回転一定の「速度一定モード」の切り替えで状況に応じた巻き上げが可能です。



巻き上げフィーリング抜群の…

スーパーストッパー II
アソビがないのでシャクリに威力を発揮します。



このクラストップレベルの…

軽量コンパクト化を実現。



さらに磨きのかかった…

ハイスピード&ハイパワーを装備。



軽いオモリでも底取り簡単…

スーパーフリースプール。

クラッチをOFFにするとスプールが完全フリーとなり、軽いオモリでの底取りも簡単になります。

ご注意:クラッチをOFFにして糸を出す時は、レベルウィンドは運動しません。ドラッグが滑っている時は、レベルウィンドとスプールは運動しますが、レベルウィンドとスプールに巻かれている糸の位置が同期しない場合があります。



メモリーした水深をメモ欄に表示…

棚メモ

P45参照

棚または底の水深をメモリーして表示しておけます。底からモード時はメモ位置を0とした水深をメモ欄に表示します。



メモ水深の表示方法を選択できる…

「上からモード」「底からモード」切り替え

P46～48参照

釣場、釣り方、対象魚など場合に応じて底からの水深を確認したい場合、メモ水深の表示方法を切り替えできます。上からモード時はメモ水深を表示していますが、底からモードを選択するとメモ位置を0とした水深が確認できます。



名人のさそい・お好みのさそい動作をリールが再現…

さそい動作再現

P13参照

電動リールにさそい動作を再現させることができます。さそいパターン「3段ジャクリ」「2段ジャクリ」「ウィリー」から選択できます。



より正確に何回でも狙った水深にシカケを落とす…

0 (ゼロ) セット。

P40～41参照

シカケが水面にあるときを0メートルとして設定できますから、狙った水深に、より正確にシカケを投入できます。



竿を立てたときにシカケが手元に戻ってくる…

船べり自動停止。

P43参照

船べり停止位置が自動的に設定されますから、船べり停止後、竿を立てるだけでシカケが手元に戻ります。



高切れをワンタッチで修正する…

高切れ補正。

P42参照

高切れした場合は、再度シカケを結びシカケを水面に合わせて0セットボタンを押してください。カウンターが修正されます。



レバー操作で巻き上げパワーまたはスピードをらくらく調整…

テクニカルレバー。

P16参照



プログラマ不要の新SLS方式…

SLS III (シマノ・ラインプログラム・システム3) 搭載。


簡単・便利になりました。より正確な棚取りが可能です。

P21～35参照

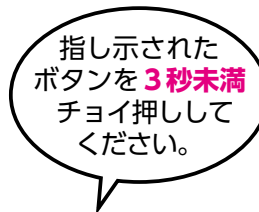


カウンターと道糸のズレを釣り場で補正…

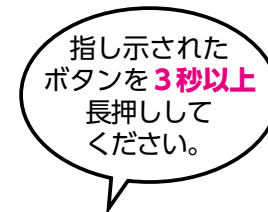
糸巻学習補正。

 P52～53参照

本文の説明中に
次のようなマークが
出てきた場合は…



ワンタッチ



3秒以上

ご注意：
本文の説明中に出てくる
カウンター内の数値・
設定などは、例として
表示している場合が
あります。
全く同じ表示になる
わけではありません。

デジタルカウンターの各部の名称

◎テクニカルレバーの設定値

レバー操作で巻き上げパワーまたはスピードをらくらく調整。

◎棚タイマー

仕掛けが目標の棚に到達してからの経過時間を表示します。

※0～59秒は1秒単位、1～99分は1分単位で表示します。

◎糸落スピード表示

糸落のスピードの目安を表示します。

※表示中は“()”が点滅します。

◎フカセモード

フカセモード時は“()”が消えます。

■PICK UP / PGM (さそい)

(チョイ巻(チョイ止)/さそい)ボタン



ワンタッチ

チョイ巻機能が ON の時、ボタンを押している間、電動で巻き上げることができます。

巻き上げのスピードは「0～Hi」まで変えることができます。

(初期設定は 15 になっています。)

※チョイ巻機能を ON にしますと、さそい機能は自動的に OFF になります。

※船べり停止以降は、チョイ巻を無効にしています。



ワンタッチ

さそい機能が ON の時、さそい動作がスタートします。

途中停止、再スタートもこのボタンで行います。

※さそい機能を ON にしますと、チョイ巻機能は自動的に OFF になります。

※船べり停止以降は、さそいを無効にしています。



ワンタッチ

チョイ止機能の説明

電動巻き上げ中に、ボタンを押している間、電動巻き上げをストップすることができます。

※チョイ巻き設定が ON の時のみ、有効になります。

◎さそい

さそい機能が ON の時 PGM が表示されます。

◎現在の水深

水面からの水深を表示します。

※水深は 10cm 単位です。100m 以上は下図のように 1m 単位になります。

99.9 → 100

◎電源の電圧不足のお知らせ

電圧が不足した場合に **B** が点灯します。

◎棚メモ

上からモード時はメモした水深を、底からモード時はメモ位置からの差を表示します。

■MENU / R/S (メニュー / 楽・速) ボタン



ワンタッチ

押すごとに速度一定モードと楽楽モードの切り替えができます。巻き上げ中の操作も可能です。

現在のモードがデジタルカウンターに表示されます。

R (楽楽モード) : 緑のバックライト (「R」点灯)

S (速度一定モード) : 赤のバックライト (「S」点灯)



3秒以上

メニュー画面が表示されます。「チョイ巻機能」、「さそい機能」、「上/底モードの切替」、「フカセモード」をそれぞれ設定します。

「チョイ巻機能」…………… P12へ
「さそい機能」…………… P13へ
「上/底モードの切替」……… P14へ
「フカセモード」…………… P15へ

■0-SET / MEMO (0セット / メモ) ボタン



3秒以上

0セットします。

仕掛けを水面に合わせて0セットしてください。

※水深表示が10.1m以上で高切れ補正します。

結びなおした仕掛けは水面に合わせて高切れ補正してください。



ワンタッチ

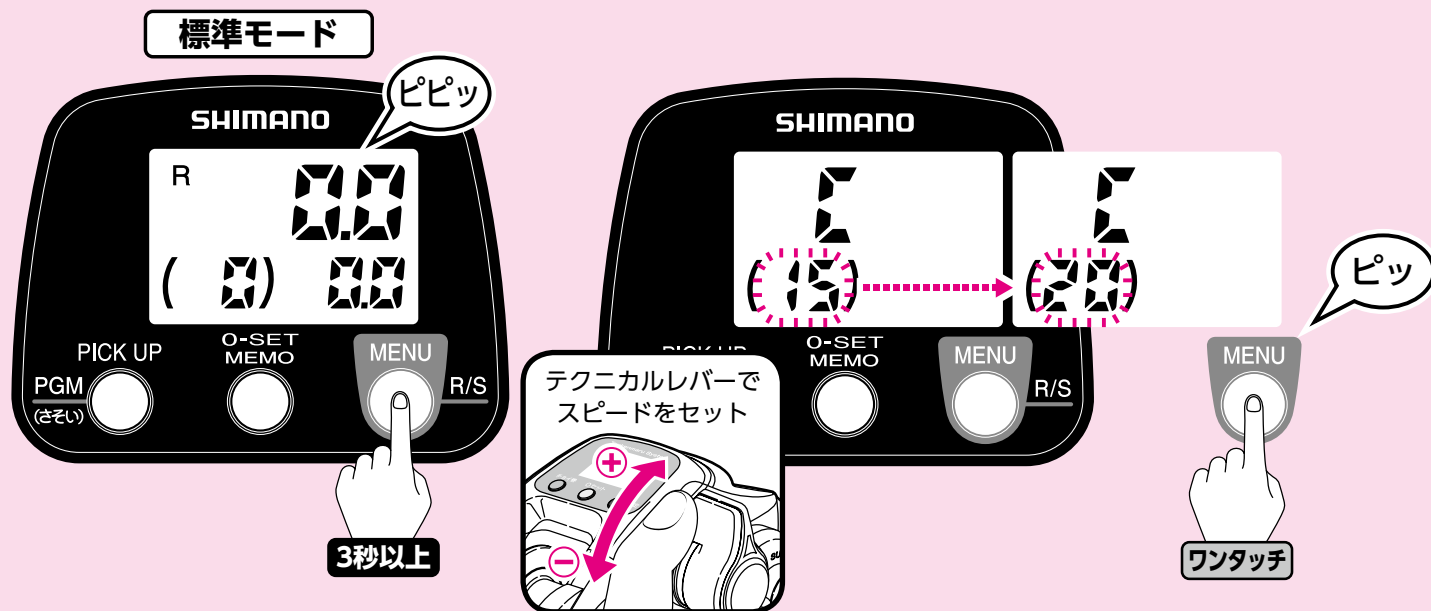
棚をメモします。

選択しているモードにより、表示される内容は異なります。

●図は説明のために液晶を全部点灯させています。



1 チョイ巻のスピード設定



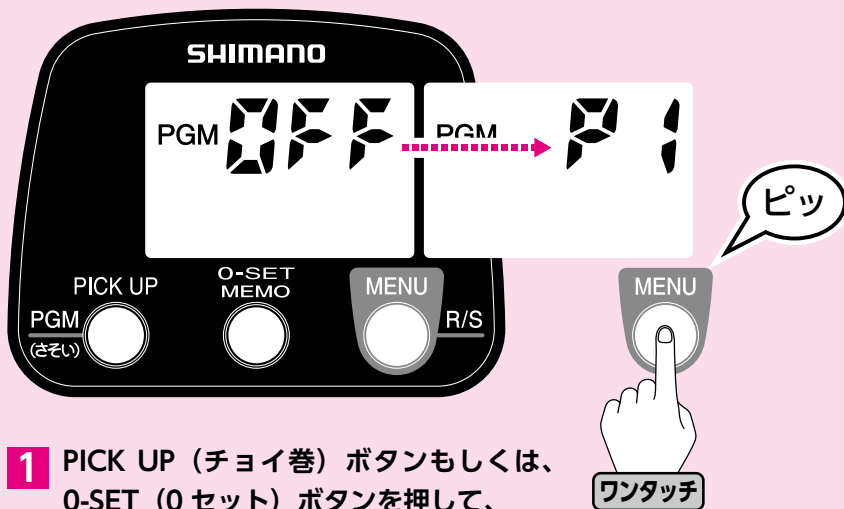
- 1** MENU (メニュー) ボタンを3秒押すと
チョイ巻のスピードの設定モードに入ります。
「pip-pip」のアラームが鳴ります。
※フカセモードが ON の場合
“()” は表示されません。

- 2** PICK UP (チョイ巻) ボタンもしくは、
O-SET (0 セット) ボタンもしくは、
レバーを操作して、
スピードを設定してください。
※“()” が点滅して、
左上に「C」が表示されます。
※初期設定は 15 です。(図は 15 から
20 に変更した場合です。)

- 3** MENU (メニュー) ボタンを押して
完了です。
「pip」のアラームが鳴ります。
※チョイ巻機能が ON の場合は、
上 / 底モードの切替設定に移ります。
(P14 へ)
※チョイ巻機能が OFF の場合は、
さそい機能設定に移ります。(P13 へ)



2 さそい機能の設定



1 PICK UP (チョイ巻) ボタンもしくは、O-SET (0 セット) ボタンを押して、さそいを4つのモードから選択して下さい。

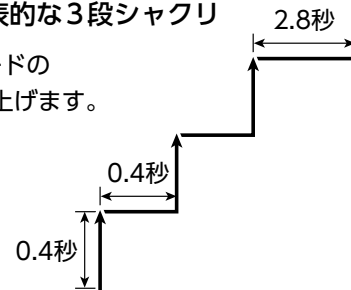
- : さそい OFF
- : 3段シャクリ
- : 2段シャクリ
- : ウィリー

2 MENU (メニュー) ボタンを押して、完了です。
「ピッ」のアラームが鳴ります。
次に、上/底モードの切替設定に移ります。(P14 へ)

※初期設定は OFF です。
(図は OFF から P1 に変更した場合です。)

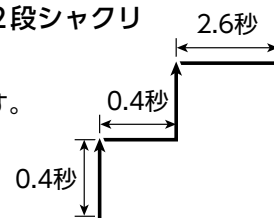
[P1] …代表的な3段シャクリ

速度一定モードの
28速で巻き上げます。



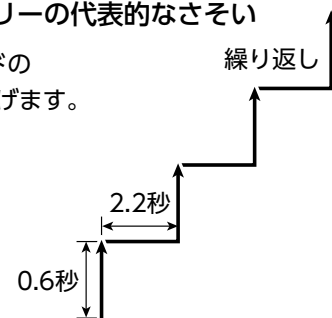
[P2] …代表的な2段シャクリ

速度一定モードの
28速で巻き上げます。



[P3] …ウィリーの代表的なさそい

速度一定モードの
16速で巻き上げます。







3 上 / 底モード切替設定



1 PICK UP (チョイ巻) ボタンもしくは、O-SET (0 セット) ボタンを押して、上からモード / 底からモードを選択して下さい。

 : 上からモード

 : 底からモード

※初期設定は上からモードです。

(図は「上からモード」から

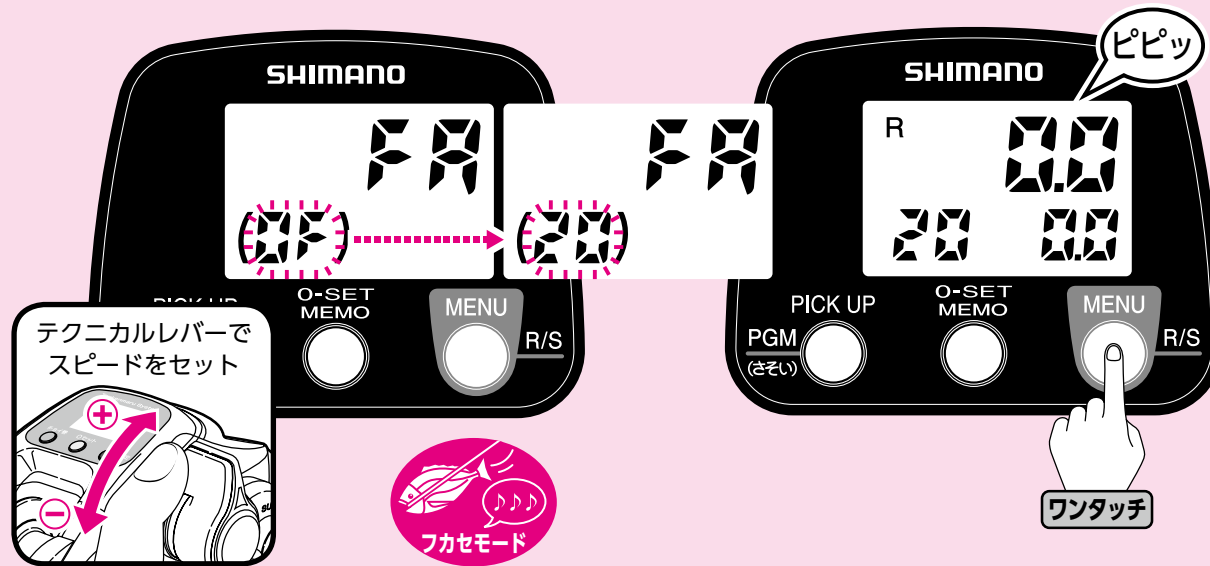
「底からモード」に変更した場合です。)

2 MENU (メニュー) ボタンを押して、完了です。
「ピッ」のアラームが鳴ります。
次に、フカセモードの設定に移ります。
(P15 へ)



4 フカセモードの設定

フカセモード

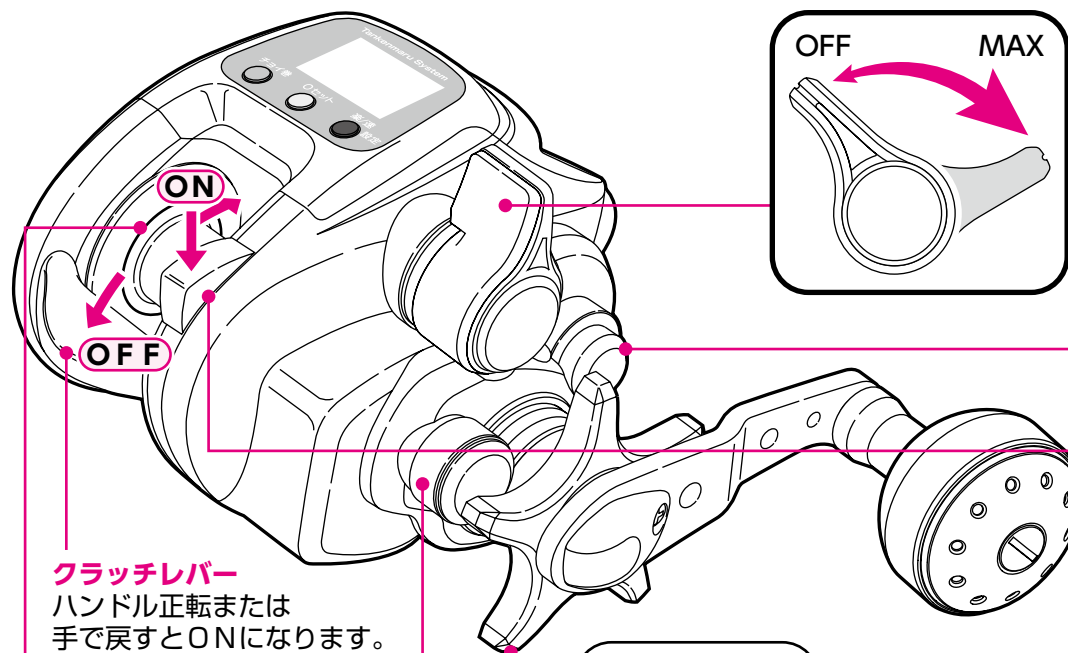


1 PICK UP (チョイ巻) ボタンもしくは、O-SET (0 セット) ボタンもしくは、レバーを操作して、スピードを設定してください。
“() ” が点滅して、画面に「FA」が表示されます。

※初期設定は、OFF です。(図は OFF から 20 に変更した場合です。)

2 MENU (メニュー) ボタンを押して完了です。
「ピピッ」のアラームが鳴ります。
標準モードに戻ります。

各部の名称



クラッチレバー

ハンドル正転または手で戻すとONになります。
ON : シカケの巻き上げ
OFF : スプールのフリーにしてシカケをおろします。

下巻目安ライン

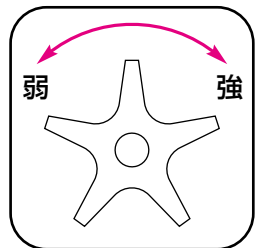
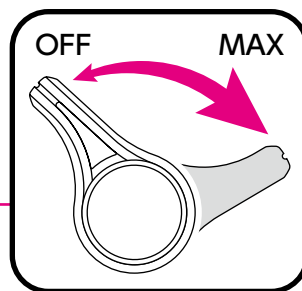
#800…PE3号-200m
#1000…PE3号-300m

メカニカルブレーキノブ

スプールの回転にブレーキをかけてシカケをおろす時のバックラッシュを防止します。

スタードラグ

魚が強く引いた時、ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。



テクニカルレバー

巻き上げパワーまたはスピードを瞬時に調整できます。
船べり停止後等で、いったん停止後の再始動時には一度OFFに戻してから始動させます。カウンター1.0m以下では安全のためレバーを動かしての巻き上げはできないようになっております。



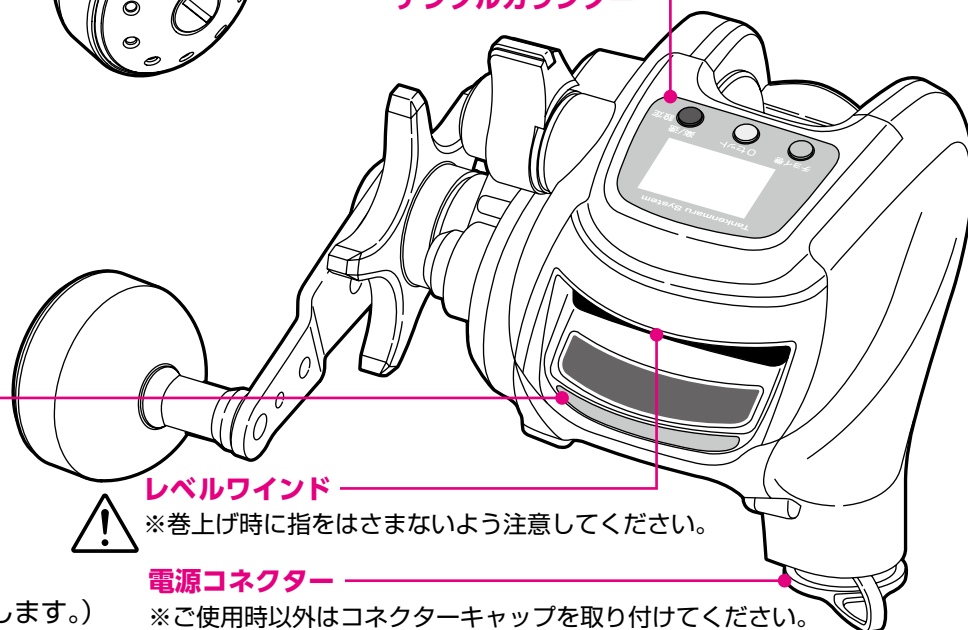
ラインホルダー

糸を止めておくものです。

クイックリターンクラッチ

(次ページをご覧ください。)

デジタルカウンター



レベルwind

※巻き上げ時に指をはさまないように注意してください。

電源コネクタ

※ご使用時以外はコネクタキャップを取り付けてください。

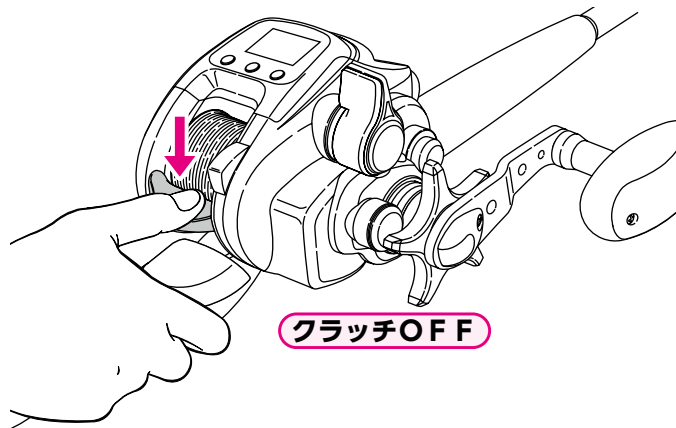
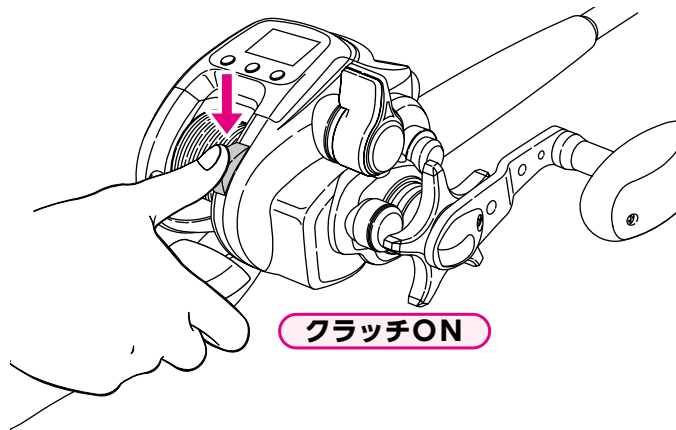
セーフティレベルwindカバー
(カウンタ部も保護します。)

クイックリターンクラッチ

クラッチOFFの時レバーを押すと、クラッチがONになります。
ロッドを持っている手で素早く操作できます。
ハンドル正転または手で戻してもONできます。

ON : シカケの巻き上げ

OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

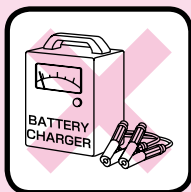
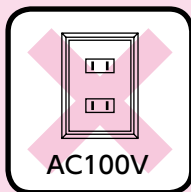
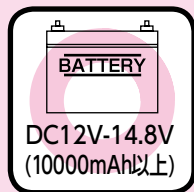


電源とケーブルについて

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は直流 (DC) 12V です。公称電圧が 12V から 14.8V (リチウムイオンバッテリーなど) までのものをご使用ください。指定外の電源 (たとえば家庭用の交流 100V、船装備の高電圧など) ではご使用できません。バッテリー



チャージャーなどは絶対に使わないでください。

- 船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流 (DC) 12V から 14.8V であることをご確認ください。(船のバッテリーをご使用になる場合は、12V のバッテリーか、DC-DC コンバータにより 24V から 12V に変換されたものに限りです。) また、端子がサビていたり、電圧が安定していませんと、リールが正常に作動しない場合があります。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- バッテリーは長期間使用されますと、次第に充電できる容量が少なくなります。その場合は、新しいバッテリーをお求めください。
- AC 電源は絶対通電させないでください。カウンター部およびモーターの故障となります。
- 他社メーカーのバッテリーには、ワニ口が正確に取り付けできない場合がございます。また、他社メーカーのバッテリーを使用されますと、バッテリーが破損する場合があります。

本製品はハイスピード、ハイパワーの高性能機種となっております。ご使用になる際は弊社、電力丸をご使用になるようお勧めいたします。

ケーブルについて

電源との接続は、必ずシマノ純正ケーブルを用いてください。ケーブルは消耗品です。使用頻度にもよりますが、2～3年で交換することをお勧めします。

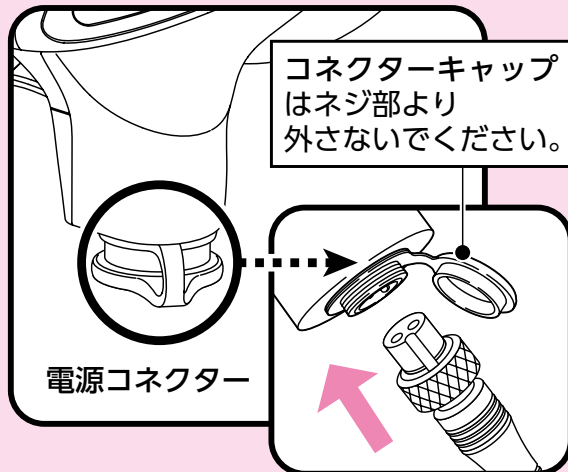
ご注意：純正以外のケーブルを使用されると、リールが正常に作動しない場合があります。また、ケーブルは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると故障の原因となります。

電源ケーブルのワニ口クリップ部はモーターの負荷によって大電流が流れると発熱する場合があります。電源端子 (バッテリー端子) とワニ口をしっかり挟み込んで使用してください。

本製品のケーブルは2芯タイプとなっています。6芯タイプのケーブルは使用できません。釣行時には持参するケーブルのご確認をお願いします。

2 バッテリーとの接続方法

- 1 バッテリーに付属のケーブルを接続してください。
赤クリップを (+) 側に、黒クリップを (-) 側につないでください。
- 2 リールとケーブルを接続してください。
ケーブルのプラグの凹部と、リールの電源のコネクターの凸部を
合わせ、奥まで差し込んで、ネジを締めてください。
※ボタンを押しながら電源を接続しないでください。
※若干のガタが出るものがありますが、ご使用上問題はありません。

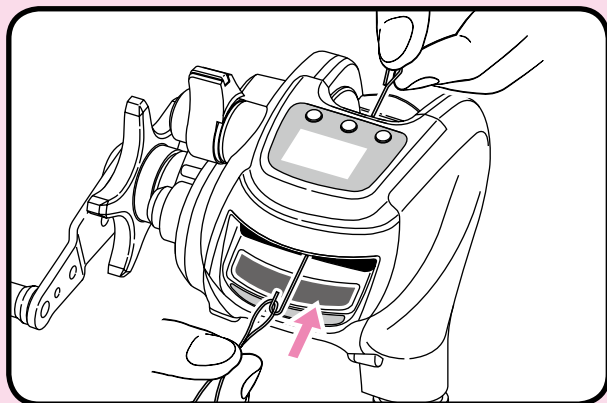


学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

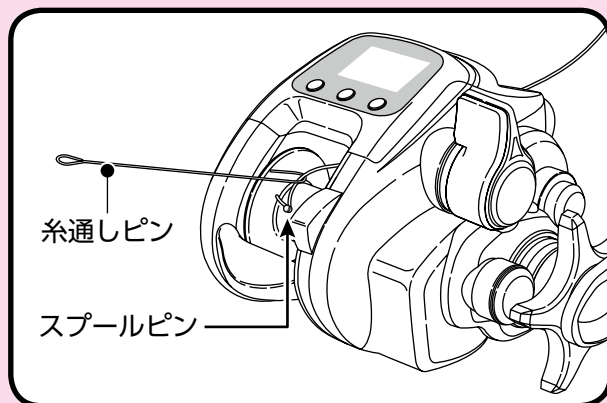
糸をセットします。

1 糸をレベルウィンドに通します。

糸を通すときは、付属の糸通しピンを使用することをおすすめします。



2 スプールピンに糸を結んでください。



学習方法の選択

まず次ページの操作で標準モードから学習モードに入り、使用する糸の種類に合った学習方法を選択します。

それぞれの学習方法については次項からの説明をご覧ください。

- ※電源をつないでいないとこの操作は行えません。
- ※カウント値が6 m以下で操作してください。
6.1m 以上の時はいったん0セットしてください。

ご注意：

不足した電圧 で学習されると途中で液晶が消える（モーターが止まる）場合があります。

学習モード一覧

標準モード

実際に釣る場合使用します。
電源ON時はこの状態です。
(※初期画面)



O-SET (0セット)+MENU (メニュー) ボタン
両方同時3秒以上押しで学習モードへ

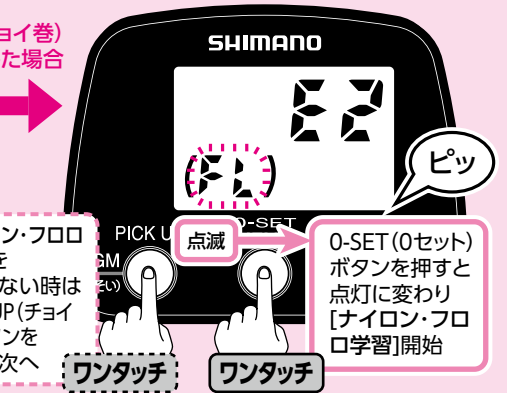
[PE学習]を
選択しない時は
PICK UP (チョイ
巻) ボタンを
押して次へ

① 学習モード E1 NEW SLS III PE 学習



O-SET (0セット)
ボタンを押すと
点灯に変わり
[PE学習]開始

② 学習モード E2 NEW SLS III ナイロン・フロロ学習



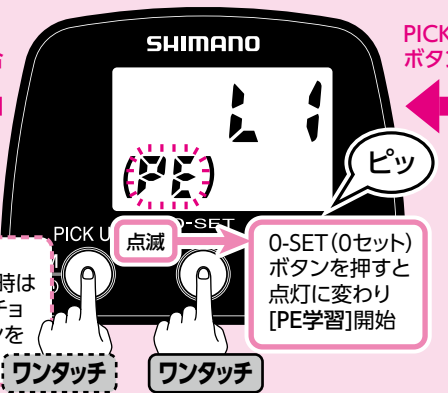
O-SET (0セット)
ボタンを押すと
点灯に変わり
[ナイロン・フロ
ロ学習]開始

⑤ 学習モード L2 従来の SLS II 下巻学習



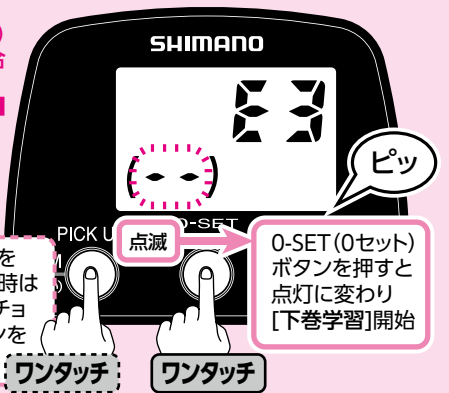
O-SET (0セット)
ボタンを押すと
点灯に変わり
[下巻学習]開始

④ 学習モード L1 従来の SLS II PE 学習



O-SET (0セット)
ボタンを押すと
点灯に変わり
[PE学習]開始

③ 学習モード E3 NEW SLS III 下巻学習



O-SET (0セット)
ボタンを押すと
点灯に変わり
[下巻学習]開始

PICK UP (チョイ巻) ボタンを
押した場合、標準モードに戻ります。

PICK UP (チョイ巻)
ボタンを押した場合

PICK UP (チョイ巻)
ボタンを押した場合

PICK UP (チョイ巻)
ボタンを押した場合

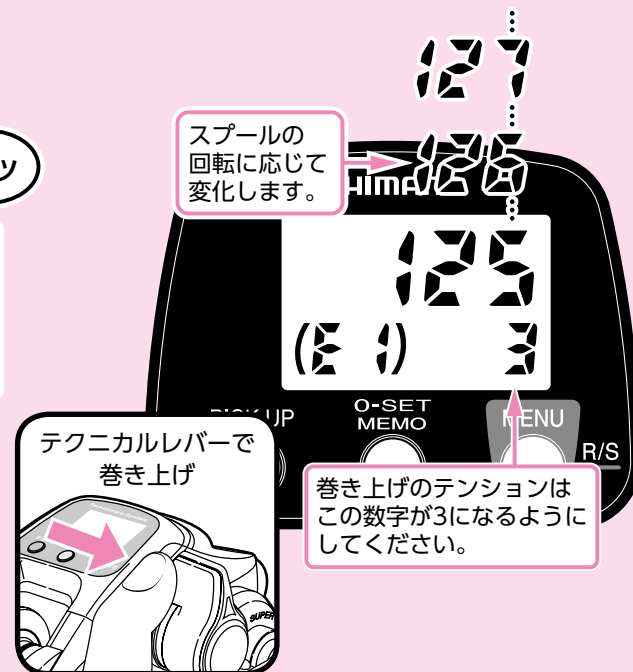
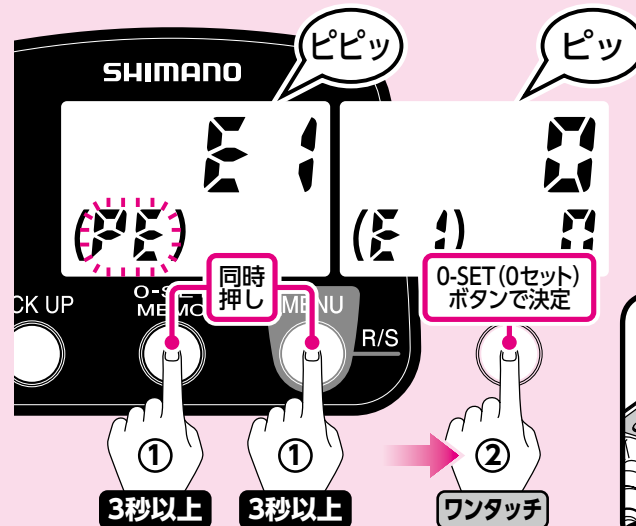
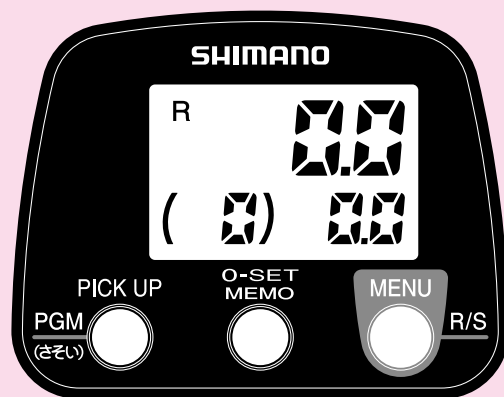
[下巻学習]を
選択しない時は
PICK UP (チョイ
巻) ボタンを
押して次へ

[PE学習]を
選択しない時は
PICK UP (チョイ
巻) ボタンを
押して次へ

[下巻学習]を
選択しない時は
PICK UP (チョイ
巻) ボタンを
押して次へ



1 簡単・便利なNEW SLSⅢ 糸巻学習 PEライン学習 (E1)

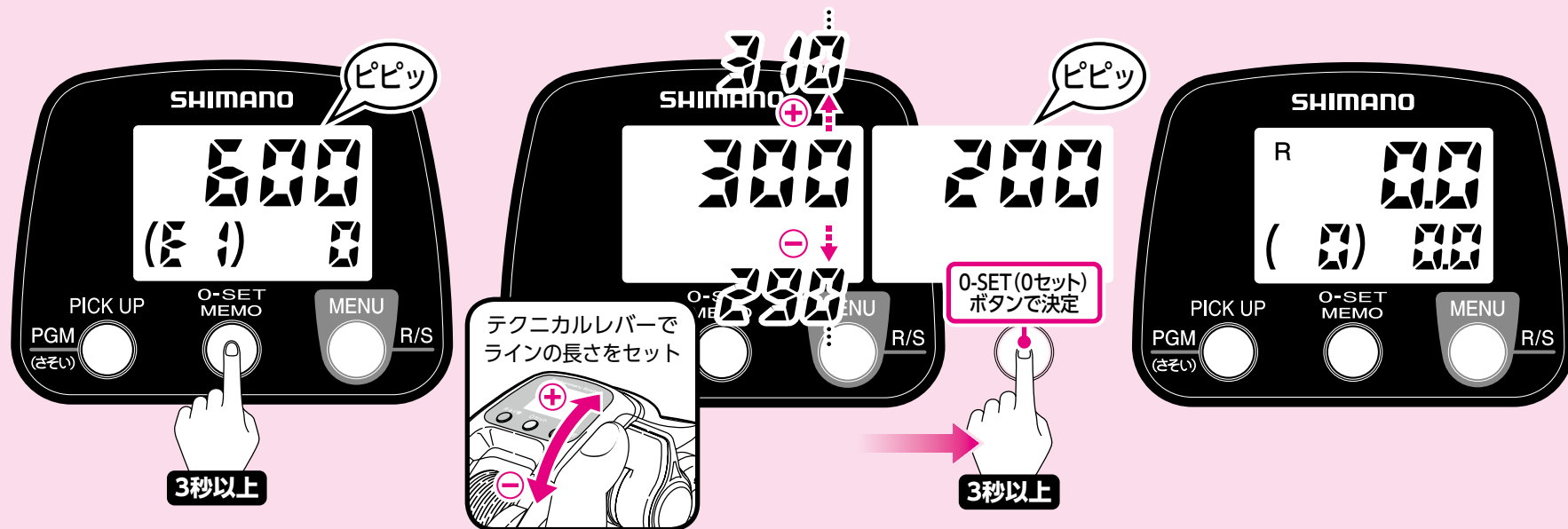


1 カウント値が6m以下で操作します。
6.1m以上の時は0セット (40～41ページ参照) しておきます。
クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。
(標準モードの状態です。)

2 O-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) ボタンを両方同時に3秒以上押しと学習モードに入ります。
「PE」が点滅します。
O-SET (0セット) ボタンを押し、「E1」を決定します。
(PE) が (E1) の点灯に変わります。
(学習モード内での学習方法の選択について、詳しくは20～21ページ「学習方法の選択」をご参照ください。)

3 テクニカルレバーで糸を巻いてください。
スピールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力 (糸のテンション) を数字で表示します。数字=kgではありません。
テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。
巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、O-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

ご注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

- 5** レバーで糸の長さをセットし O-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。

「ピピッ」のアラームが鳴ります。

※初期設定は300mです。(図は300mから200mに変更した場合です。)

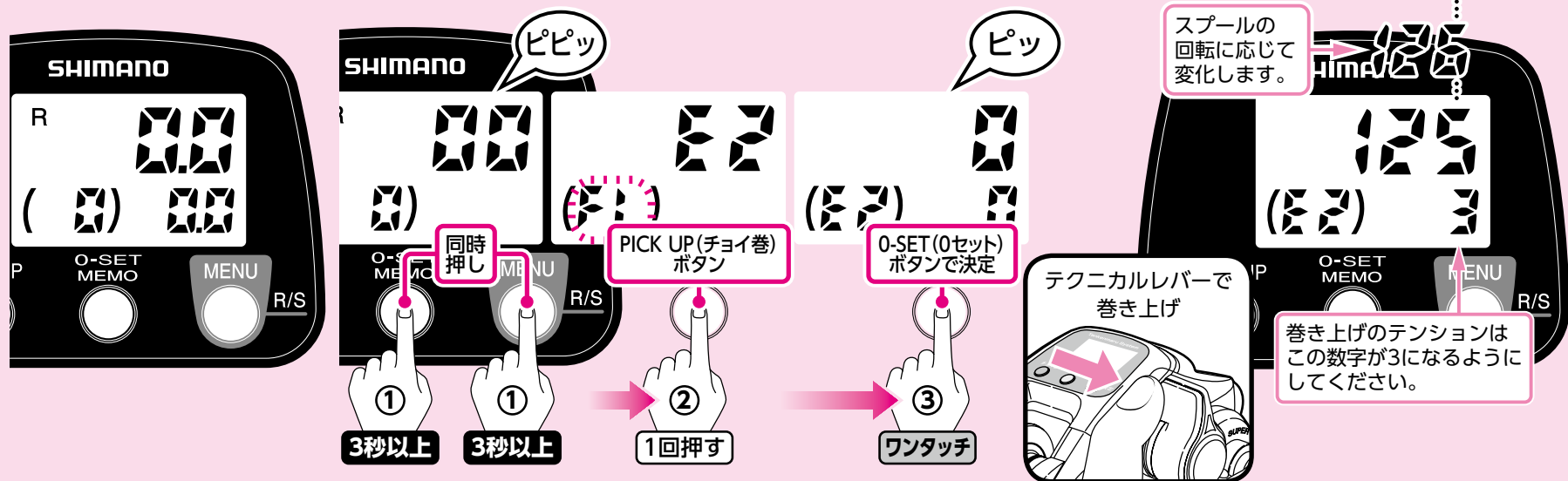
※各入力途中でPICK UP (チョイ巻) ボタンを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度やり直してください。

- 6** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは、学習後1投目の誤差です。

※その後釣りをされていて誤差が大きいと思われる場合は、52～53ページの「糸巻学習補正」を行ってください。より正確な棚取りができます。

2 簡単・便利なNEW SLS III 糸巻学習 ナイロン・フロロ学習 (E2)



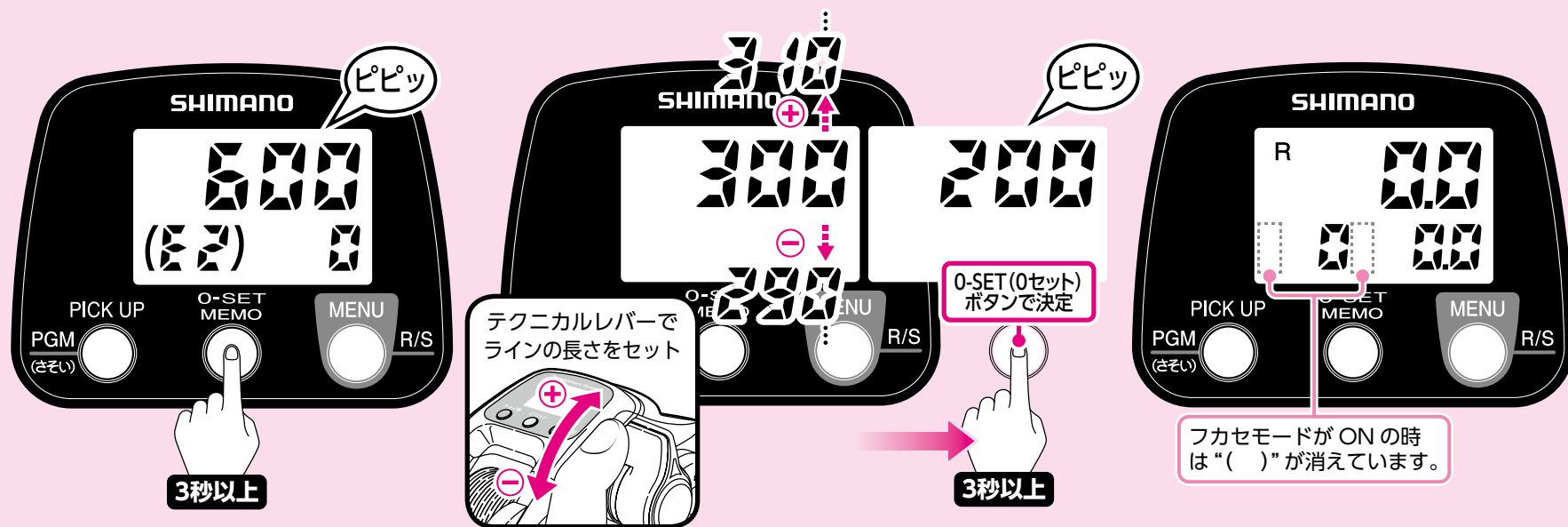
1 カウント値が6m以下で操作します。
6.1m以上の時は0セット (40～41ページ参照) しておきます。
クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。
(標準モードの状態です。)

2 0-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) を両方同時に3秒以上押しと学習モードに入ります。
次に、PICK UP (チョイ巻) ボタンを1回押ししてください。「FL」が点滅します。
0-SET (0セット) ボタンを押し、「E2」を決定します。
(FL) が (E2) の点灯に変わります。
(学習モード内での学習方法の選択について、詳しくは20～21ページ「学習方法の選択」をご参照ください。)

3 テクニカルレバーで糸を巻いてください。
スピールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力 (糸のテンション) を数字で表示します。数字=kgではありません。
テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。
巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

ご注意!! ナイロン・フロロを巻かれる際は、巻き上げテンションの数字が「5」以上にならないように注意してください。スピールが変形する恐れがあります。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、0-SET (0セッ) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

ご注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

- 5** レバーで糸の長さをセットし0-SET (0セッ) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

※初期設定は300mです。(図は300mから200mに変更した場合です。)

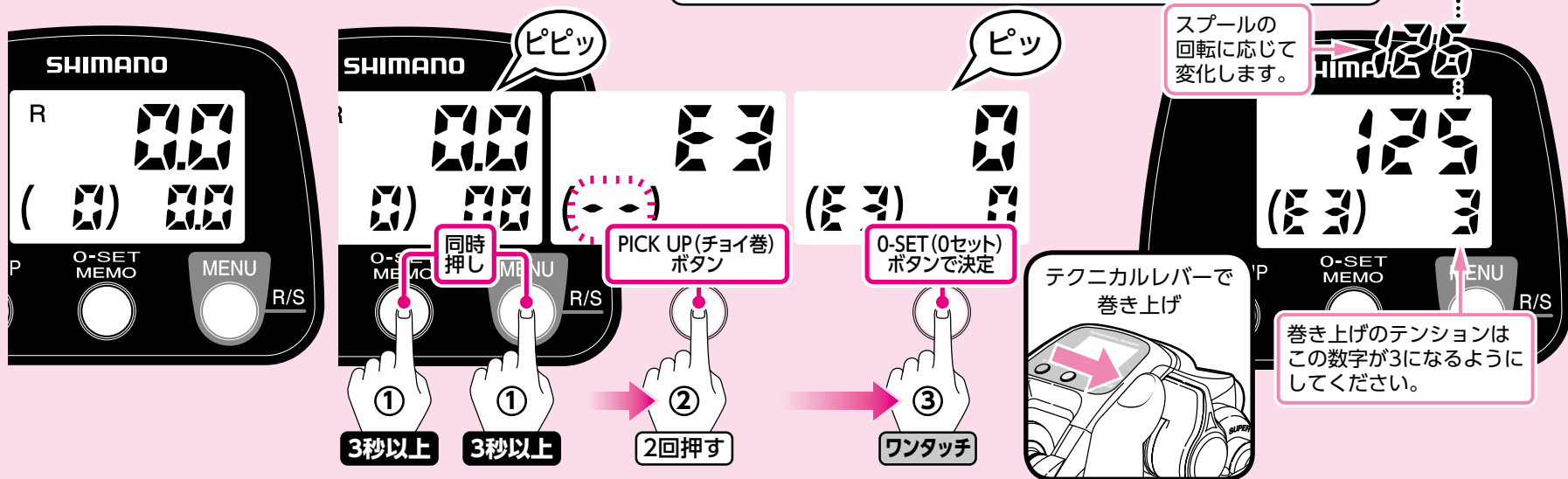
※各入力途中でPICK UP (チョイ巻) ボタンを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度やり直してください。

- 6** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)
※誤差とは、学習後1投目の誤差です。
※その後釣りをされていて誤差が大きいと思われる場合は、52～53ページの「糸巻学習補正」を行ってください。より正確な棚取りができます。

学習モード【NEW SLS III ナイロン・フロロ学習】(E2)をされた場合“()”が表示されません。フカセモードがONになります。

3 簡単・便利なNEW SLS III 糸巻学習 下巻き学習 (E3)

※ 800番…PE3号200m、1000番…PE3号300mを巻かれる場合：
スプールの下巻きラインを使用してください。
※ 800番…PE3号100m/3号200m/4号200m、
1000番…PE3号200m/3号300m/4号200mを巻かれる場合：
付属ゲージを使用してください。

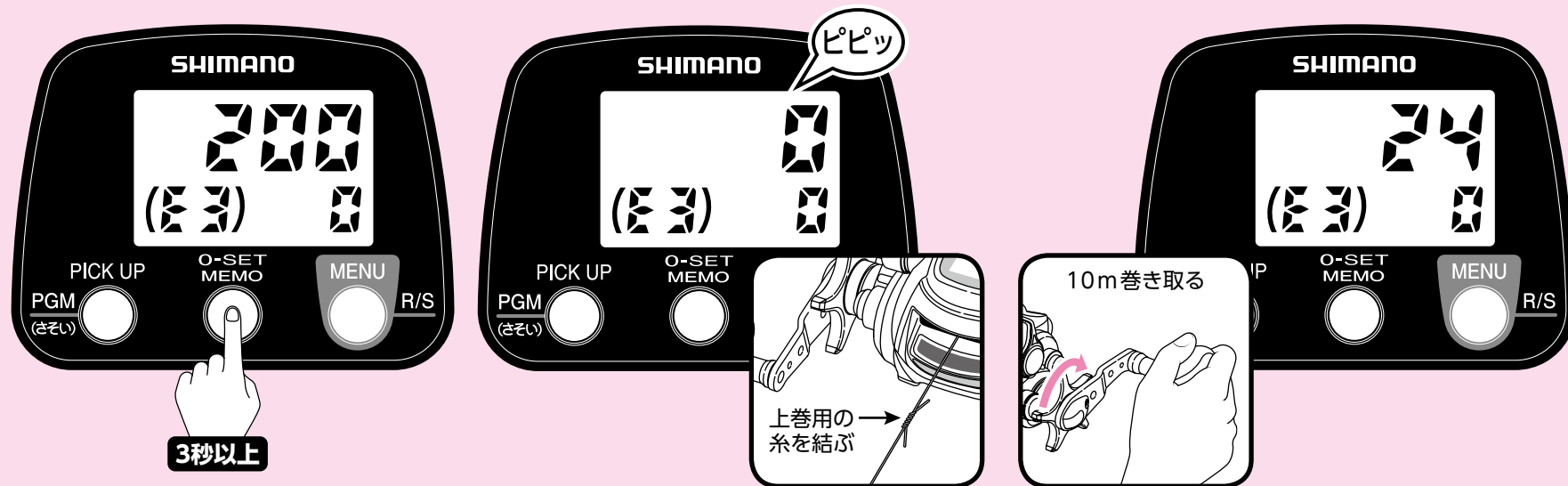


1 カウント値が6m以下で操作します。
6.1m以上の時は0セット (40～41ページ参照) しておきます。
クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。
(標準モードの状態です。)

2 O-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) を両方同時に3秒以上押しと学習モードに入ります。
次に、PICK UP (チョイ巻) ボタンを2回押ししてください。「-」が点滅します。
O-SET (0セット) ボタンを押し、「E3」を決定します。
(-) が (E3) の点灯に変わります。
(学習モード内での学習方法の選択について、詳しくは20～21ページ「学習方法の選択」をご参照ください。)

3 テクニカルレバーで糸を巻いてください。
スプールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力 (糸のテンション) を数字で表示します。数字=kgではありません。
テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。
巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



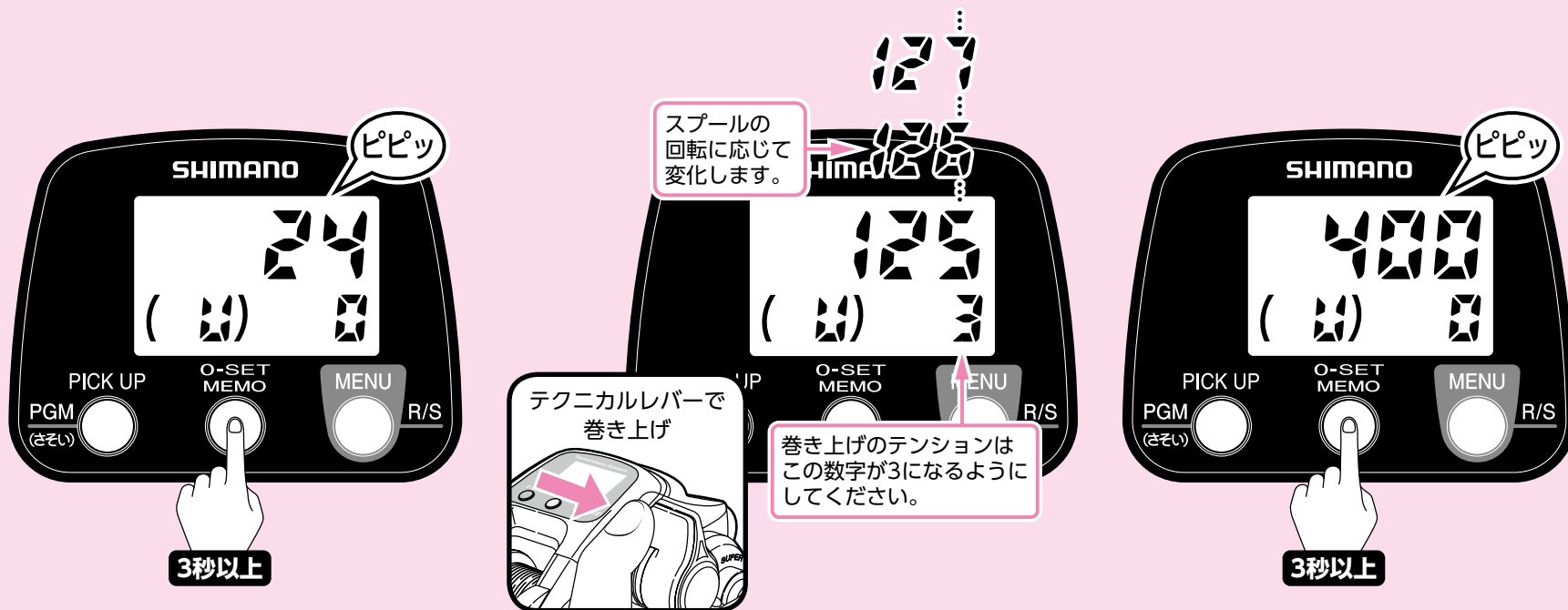
4 下巻き用の糸を巻き終わったら、O-SET (Oセット) ボタンを3秒以上押してください。

5 「ピピッ」のアラームが鳴り、表示は図のようになります。
巻き終わった下巻き糸に、上巻き用の糸を結びます。

6 上巻き糸を正確に10m分巻き取ります。
スプールの回転に応じて表示が変化します。

次ページにつづく

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



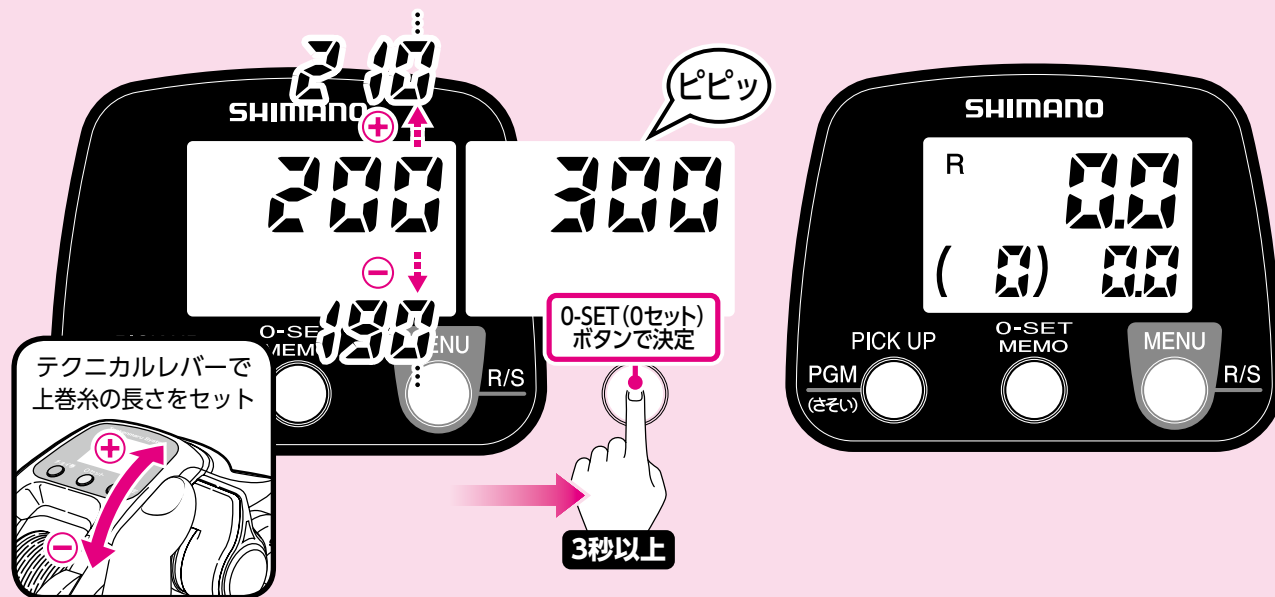
7 0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴り、表示は図のようになります。

8 テクニカルレバーで糸を巻いてください。スプールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

9 糸を完全に巻き終えたら、0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

ご注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



10 レバーで上巻き糸の長さをセットし
O-SET (0セット) ボタンを3秒以上押し
てください。

「ピピッ」のアラームが鳴ります。

※初期設定は 200m です。(図は 200m から
300m に変更した場合です。)

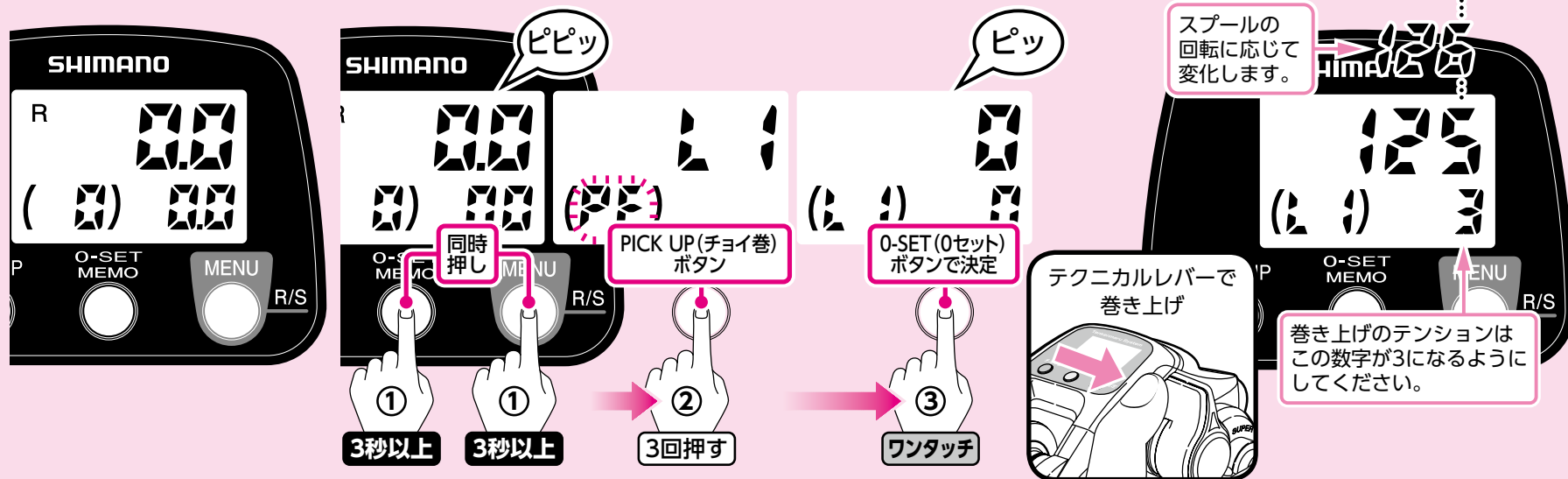
※各入力途中でPICK UP (チョイ巻) ボタン
を誤って押してしまった場合、途中のデー
タはキャンセルとなります。もう一度やり
直してください。

11 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。
(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは
最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは、学習後1投目の誤差です。

※その後釣りをされていて誤差が大きいと思
われた場合は、52～53ページの「糸巻学
習補正」を行ってください。より正確な棚取
りができます。

4 従来のSLS II 糸巻学習 PEライン学習 (L1)

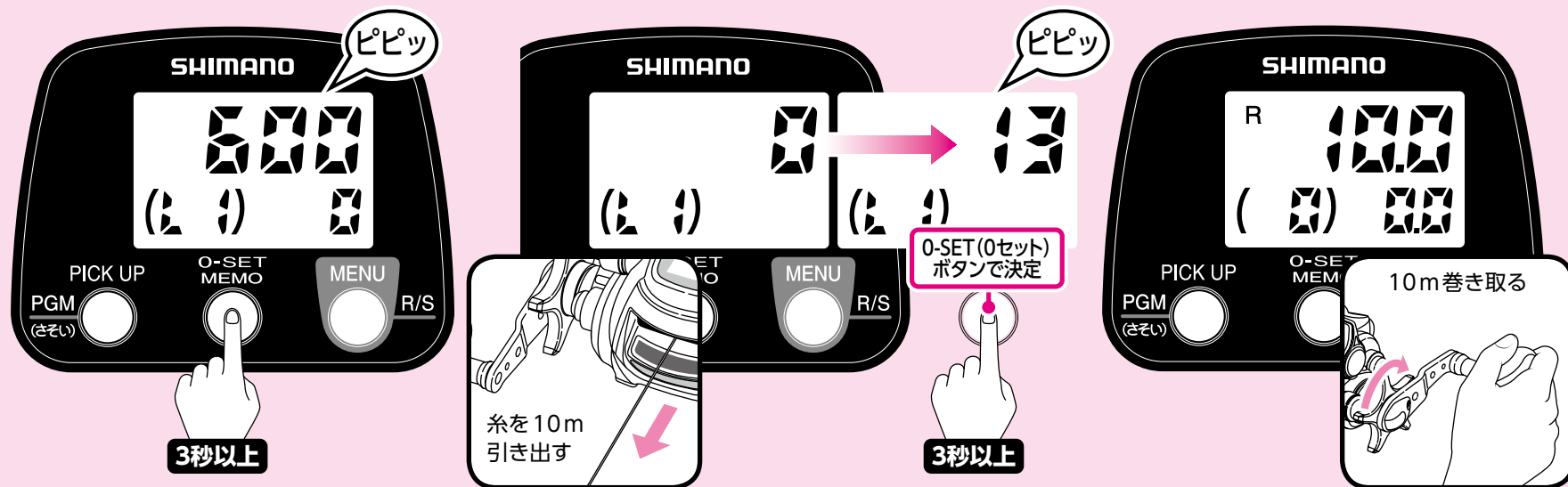


1 カウント値が6m以下で操作します。
6.1m以上の時は0セット (40～41ページ参照) しておきます。
クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。
(標準モードの状態です。)

2 O-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) を両方同時に3秒以上押しすと学習モードに入ります。
次に、PICK UP (チョイ巻) ボタンを3回押ししてください。「PE」が点滅します。
O-SET (0セット) ボタンを押し、「L1」を決定します。
(PE) が (L1) の点灯に変わります。
(学習モード内での学習方法の選択について、詳しくは20～21ページ「学習方法の選択」をご参照ください。)

3 テクニカルレバーで糸を巻いてください。
スプールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力 (糸のテンション) を数字で表示します。数字=kgではありません。
テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。
巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

ご注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

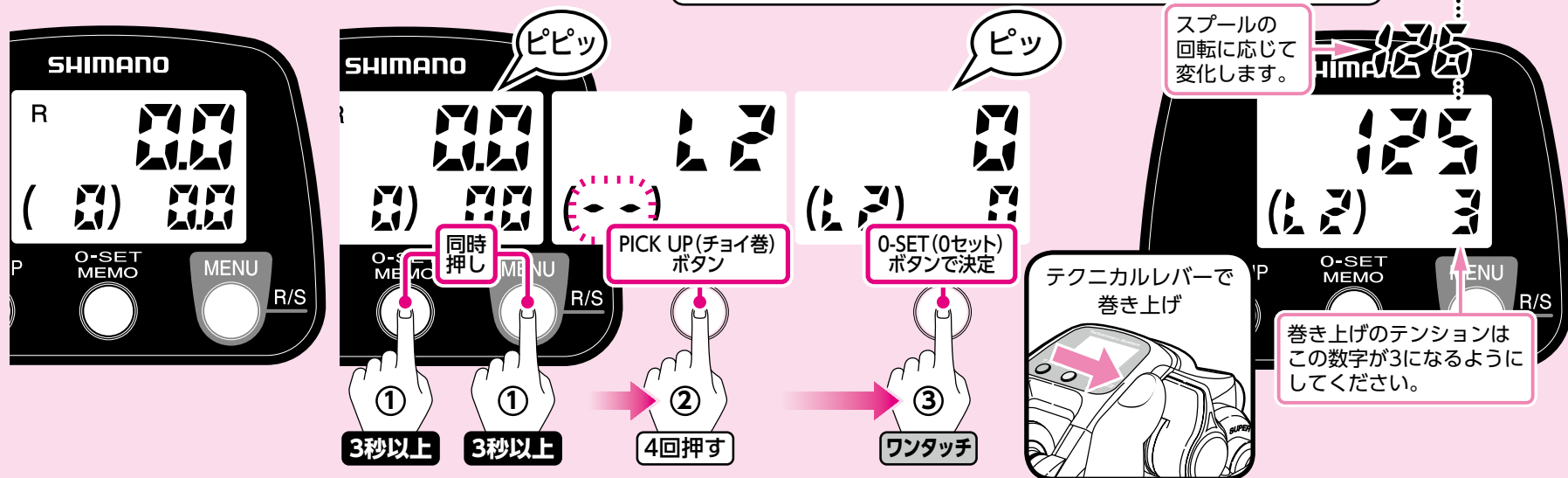
- 5** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカーの数で確認します。) 学習を終了するため、0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

- 6** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) ※誤差とは、学習後1投目の誤差です。 ※その後釣りをされていて誤差が大きいと思われる場合は、52～53ページの「糸巻学習補正」を行ってください。より正確な棚取りができます。

- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

5 従来のSLS II 糸巻学習 下巻き学習 (L2)

※ 800番…PE3号200m、1000番…PE3号300mを巻かれる場合：
スプールの下巻きラインを使用してください。
※ 800番…PE3号100m/3号200m/4号200m、
1000番…PE3号200m/3号300m/4号200mを巻かれる場合：
付属ゲージを使用してください。

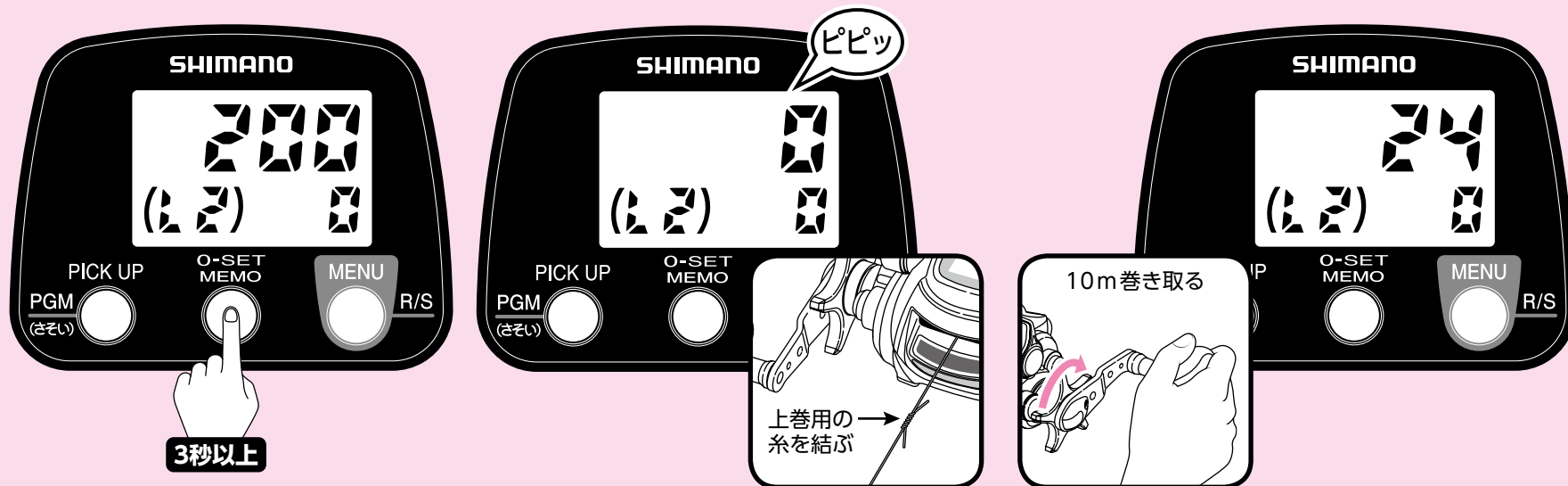


1 カウント値が6m以下で操作します。
6.1m以上の時は0セット (40～41ページ参照) しておきます。
クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。
(標準モードの状態です。)

2 0-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) を両方同時に3秒以上押しと学習モードに入ります。
次に、PICK UP (チョイ巻) ボタンを4回押ししてください。
「-」が点滅します。
0-SET (0セット) ボタンを押し、「L2」を決定します。
(-) が (L2) の点灯に変わります。
(学習モード内での学習方法の選択について、詳しくは20～21ページ「学習方法の選択」をご参照ください。)

3 テクニカルレバーで糸を巻いてください。
スプールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力 (糸のテンション) を数字で表示します。数字=kgではありません。
テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。
巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



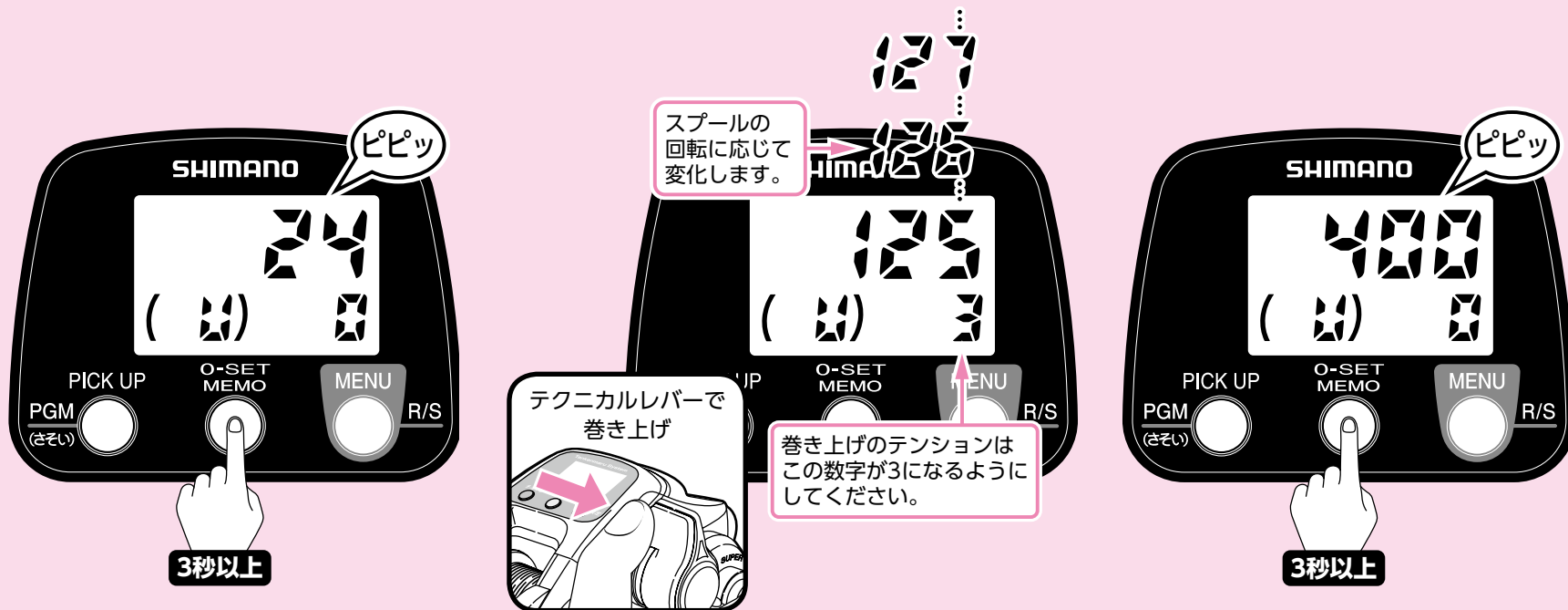
4 下巻き用の糸を巻き終わったら、O-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。

5 「ピピッ」のアラームが鳴り、表示は図のようになります。
巻き終わった下巻き糸に、上巻き用の糸を結びます。

6 上巻き糸を正確に10m分巻き取ります。
スプールの回転に応じて数値が変化します。

次ページにつづく

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



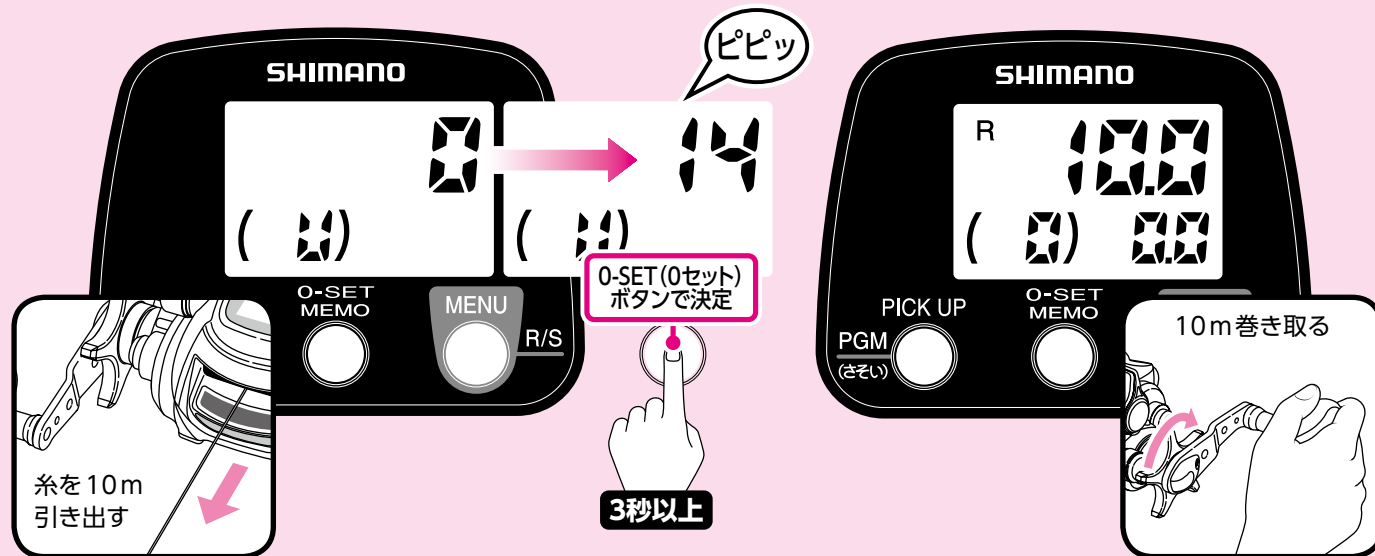
7 0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴り、表示は図のようになります。

8 テクニカルレバーで糸を巻いてください。スプールの回転数に比例した数字が表示されます。巻き上げのテンションは3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。テクニカルレバーでの巻き上げの場合、速度はテクニカルレバーで調節できます。巻き上げを止めるときは、テクニカルレバーを「OFF」の位置にしてください。

9 糸を完全に巻き終えたら、0-SET (0セット) ボタンを3秒以上押してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。

ご注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、カウンター誤差の原因になります。

注意：カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 10** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカーの数で確認します。)
学習を終了するため、O-SET (0セット) ボタンを3秒以上押ししてください。
「ピピッ」のアラームが鳴ります。

- 11** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。
(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)
※誤差とは、学習後1投目の誤差です。
※その後釣りをされていて誤差が大きいと思われる場合は、52～53ページの「糸巻学習補正」を行ってください。より正確な棚取りができます。

- 12** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

糸巻学習後の手順 (早く、有効に使いこなすために…)



かんたん 手順

これさえ知って
いればとにかく
使えます。



べんり 手順

簡単でとっても
便利です。



もっとべんり 手順

知れば知るほど
釣りの世界が
広がります。



フカセモード

フカセ モード



仕掛巻込防止機能



アタリアラーム

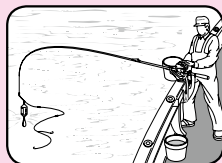
フカセモード時は「仕掛巻込防止機能」、「アタリ検知アラーム」の2つの機能が有効になります。

詳しくは
P51へ!!



0セット

0セット



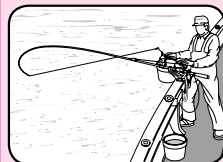
ボタンひとつでシカケが水面にあるとき0mになるよう設定。狙った水深に正確にシカケを投入できます。

詳しくは
P40～41へ!!



船べり停止

船べり 自動停止



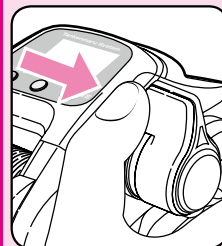
竿を立てるとシカケが手元にピタリともどる、船べり自動停止機能は手返しに差がつかます。

詳しくは
P43へ!!



テクニカル
レバー

テクニカル レバー



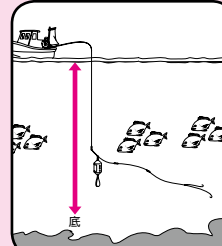
巻き上げパワーまたはスピードを瞬時に調整することができます。

詳しくは
P16へ!!



棚メモ

棚メモ



棚または底の水深をメモリーしてメモ欄に表示しておけます。底からモード時はメモ位置を0とした水深をメモ欄に表示します。

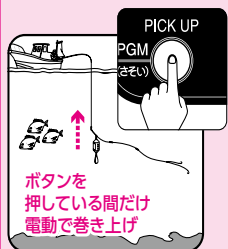
詳しくは
P45へ!!





チョイ巻

チョイ巻



ボタンを押している間、電動で巻き上げることができません。

詳しくは
P11・12へ!!



チョイ止

チョイ止



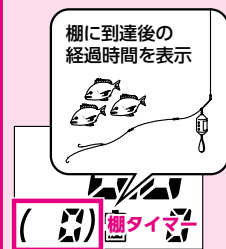
電動巻き上げ中に、ボタンを押している間、電動巻き上げをストップすることができます。

詳しくは
P11へ!!



棚タイマー

棚タイマー



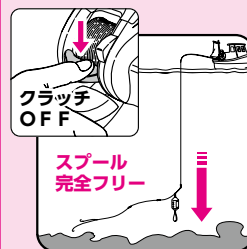
仕掛けが目標の棚に到達してからの経過時間を表示します。

詳しくは
P11へ!!



スーパーフリー
スプール

スーパーフリー スプール



クラッチをOFFにするとスプールが完全フリーとなり、軽いオモリでの底取りも簡単になります。

ご注意：
クラッチをOFFにして糸を出す時は、レベルウィンドは連動しません。ドラグが滑っている時は、レベルウィンドとスプールは連動しますが、レベルウィンドとスプールに巻かれている糸の位置が同期しない場合があります。



糸落スピード
表示

糸落スピード 表示



糸落のスピードの目安を表示中は“()”が点滅します。糸落スピードを安定させることにより、釣果UPにつながります。

詳しくは
P11へ!!



糸巻学習
補正

糸巻学習 補正



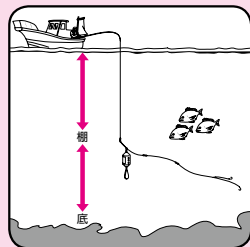
実際のラインマーカーとカウンターとのm数を補正することで、より正確な棚取りを行えます。

詳しくは
P52～53へ!!



上・底から

上から・底から モード切替え



釣場、釣り方、対象魚など場合に応じて底からの水深を確認したい場合、メモ水深の表示方法を切り替えられます。上からモード時はメモ水深を表示していますが、底からモードを選択するとメモ位置を0とした水深が確認できます。

詳しくは
P46～48へ!!



楽・速モード

楽楽・速度一定 モード切替え

スプール回転一定の
速度一定モード



切り替え

ラインテンション一定の
楽楽モード

巻き上げパワーが一定の「楽楽モード」と、巻き上げスピードが一定の「速度一定モード」の切り替えで、状況に応じた巻き上げが可能です。

詳しくは
P11・49～50へ!!





応用

シカケを速く落すテクニック。

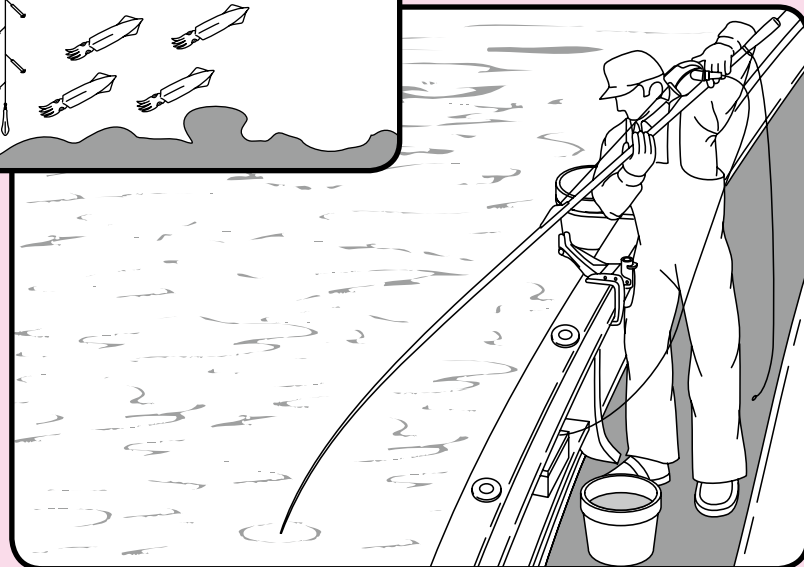
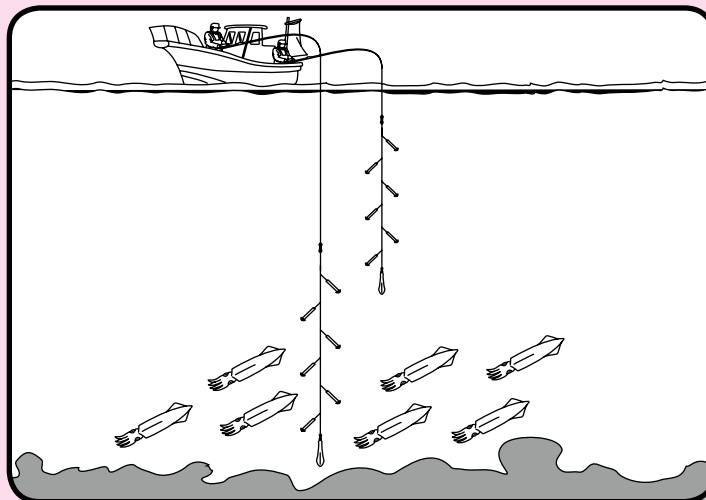
- 一般的にはメカニカルブレーキノブを締め、スプールのフリー回転を少し重くし、船の上下動による糸のバックラッシュを防ぎます。
- しかし、より速くシカケを落とすためにはメカニカルブレーキノブを締めずに、自分の指でスプールをサミングしてください。
- 竿先を下に向け、竿全体を立てることで、ガイドの抵抗を少なくすることができます。
(右図)

※スーパーフリースプールを採用しておりますので、モーターを強制的に回しての「糸送り」機能は搭載しておりません。

※シカケ落下中に、レベルウィンドの位置をスプールのセンターに位置することで、さらにスムーズに落下させることができます。

シカケ落下中に、PICK UP (チョイ巻) ボタンを押すことで、レベルウィンドを動かすことができます。

※シカケ落下中に、モーターが ON になっている状態でクラッチを ON にしますと、クラッチの故障の原因になります。必ずモーターが OFF になっている事をご確認の上、クラッチを ON にしてください。



0 (ゼロ) セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)



正確な棚取りを実現するために。

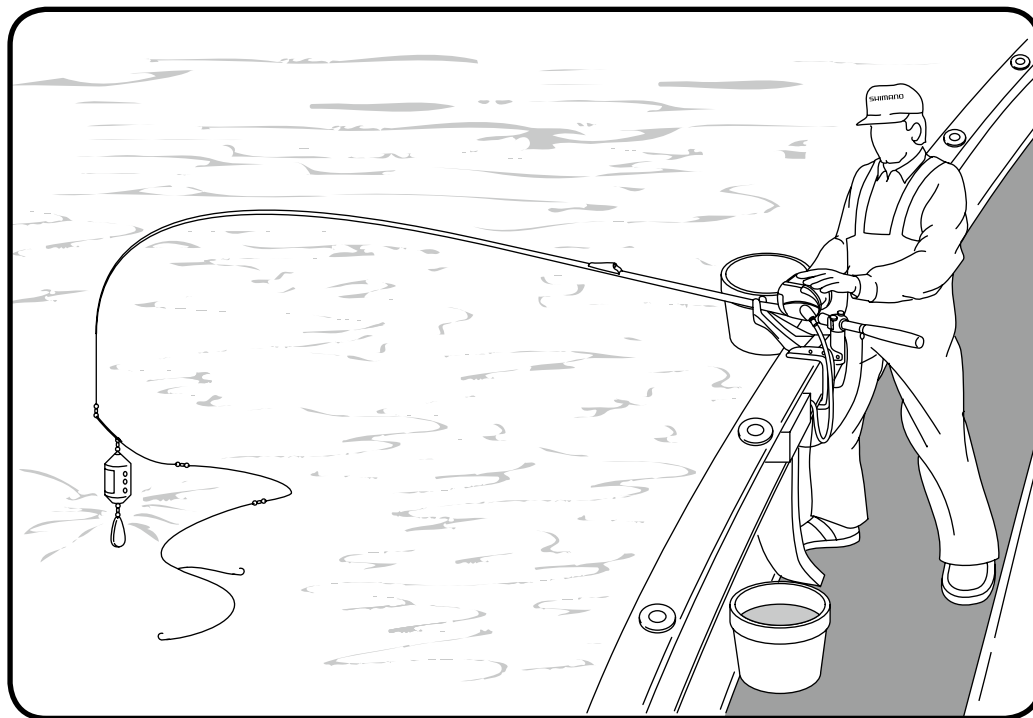
釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定することです。

「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。

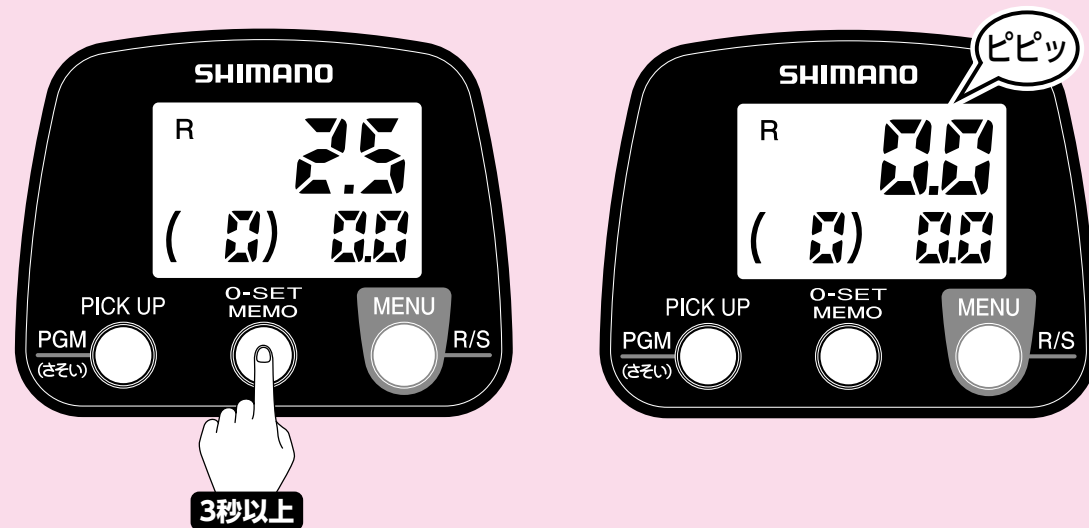
※糸を巻き込み過ぎた状態での0セットは、糸巻学習が不正確になる原因となりますのでおやめください。

※水深表示が10.1m以上で0セットをすると、高切れ補正となります。



シカケが水面にある時を0mとして設定します。

0 セットを試してみましょう。



1 シカケを水面に合わせ、O-SET (0 セット) ボタンを 3 秒以上押してください。

2 「ピピッ」のアラームが鳴り、上図のように表示が変わります。
これで0セットは完了です。

⚠️ ご注意!

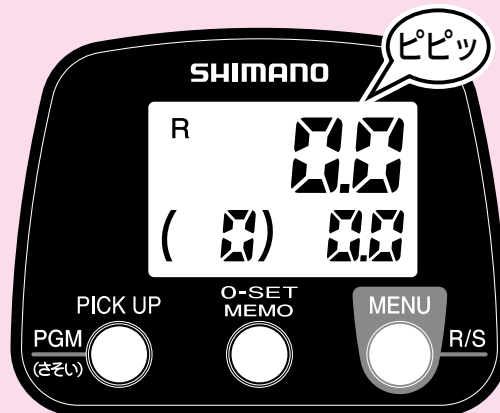
糸を巻き込み過ぎた状態での0セットは、糸巻学習が不正確になる原因となりますのでおやめください。

高切れの補正

高切れセット

高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。

※水深表示が 10.1m 以上で 0 セットをすると、高切れ補正となります。



1 シカケを結びなおし、水面にシカケを合わせて、O-SET (0 セット) ボタンを 3 秒以上 押します。

2 上図のように表示が変わります。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

! **ご注意!**

高切れをした場合、道糸を巻き込んでしまってから高切れ補正を行うと、糸巻学習が不正確になります。道糸の巻き込みには十分ご注意ください。



**シールドタイプ S A-RB で
さらなるスプールフリーを実現!**

従来のA-RB (アンチラストベアリング) の側面に防錆素材でシーリングし、塩分の浸入を減少させたシールドタイプ S A-RBを適材適所に配置したことにより、シカケ落下時のスプールフリーが更に軽くなりました。

それによってイカ釣りでのシカケ落下性能も飛躍的にUP、また電動リールでは困難と言われた完全フカセも攻略。

また、レベルワインド部分での糸ガラムを完全にシャットアウトする、セーフティーバーとレベルワインドのベストバランスを実現させました。

A-RB処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による“塩噛み”をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

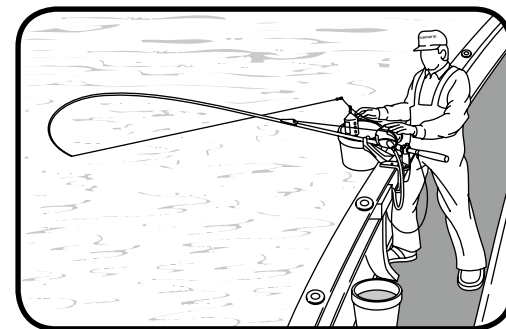
シールドタイプ S A-RB 6個内蔵

S A-RB



**電動巻き上げ停止後、竿を立てれば
シカケが手元にもどります。**

船べり停止後、竿を立てたときにシカケが手元にくるように自動的に設定されます。



※電源を入れた初回投入時のみ6mで船べり停止します。

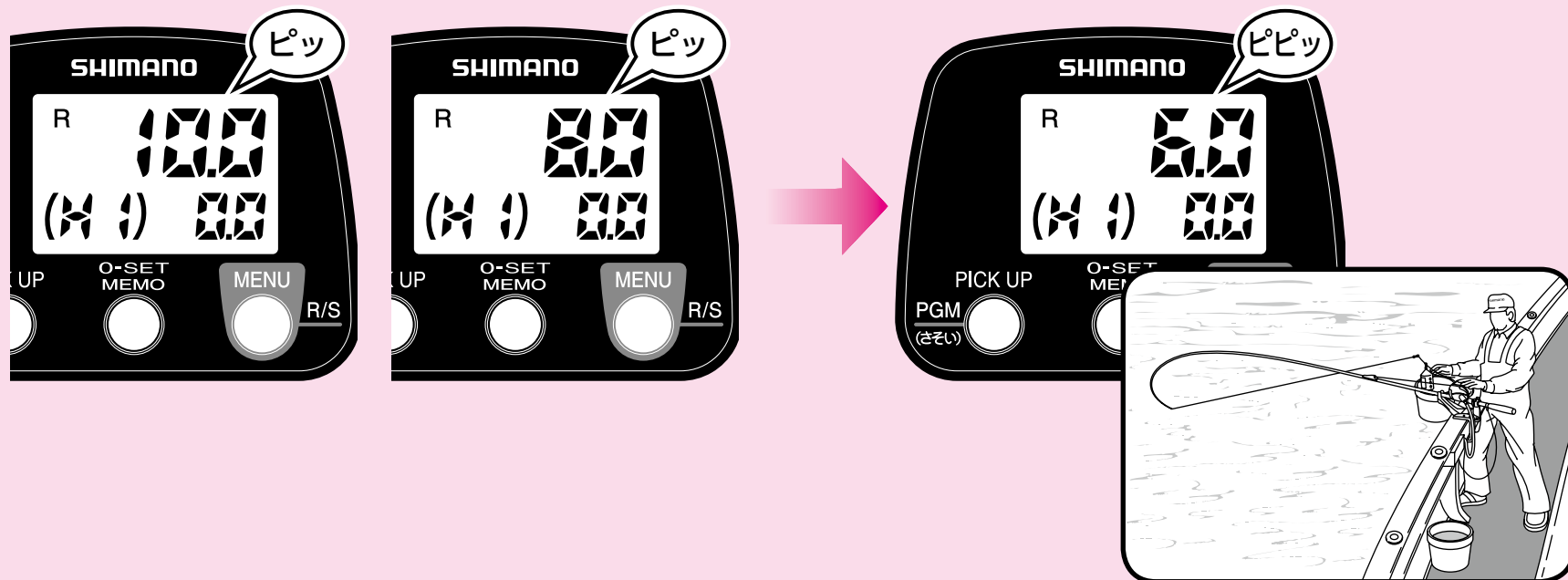
2回目以降は5秒以上止めていた位置を次回の船べり停止位置として、コンピュータが自動的に記憶します。

(この機能は1m~6mの範囲で作動します。水深表示が1.0m未満の時は、安全のため1mの設定になります。)

※フカセモード時は船べり停止位置の自動設定が無効になり、巻き込み防止のプログラムが作動し、かなり手前で止まる場合があります。

アラーム (船ベリ)

船ベリ自動停止位置の4m手前からアラームでお知らせします。



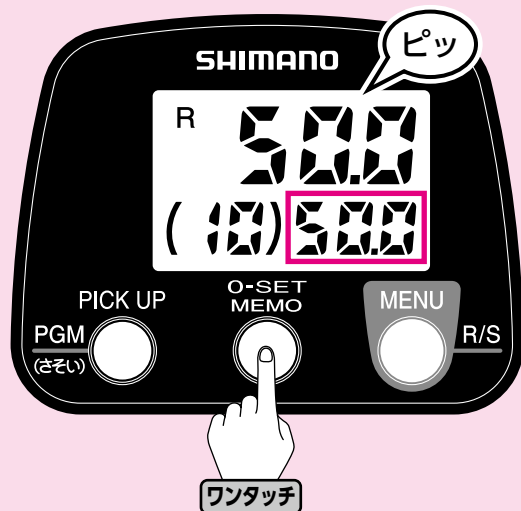
- 1** セットされている船ベリ自動停止位置の4m手前から、2mごとにアラームでお知らせします。
図はテクニカルレバーのHIで巻き上げた場合の表示です。

- 2** 船ベリ自動停止位置 (この場合は6.0m) で「ピッピッ」のアラームが鳴り、自動的に巻き上げを停止します。
船ベリ停止後、竿を立てるだけで手元にシカケがくるので、すばやく上図のようにとりこむことができます。

棚または底の水深をメモリーする方法



水深をメモリーするには…



シカケをメモリーしたい水深に合わせ、MEMO（メモ）ボタンを押します。
メモリーした水深がメモ欄に表示されます。（□部分）
上図の場合ですと 50.0m の水深がメモリーされます。（上からモード選択時）

※このセットは何回でも入れ換えが可能です。

2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード



棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

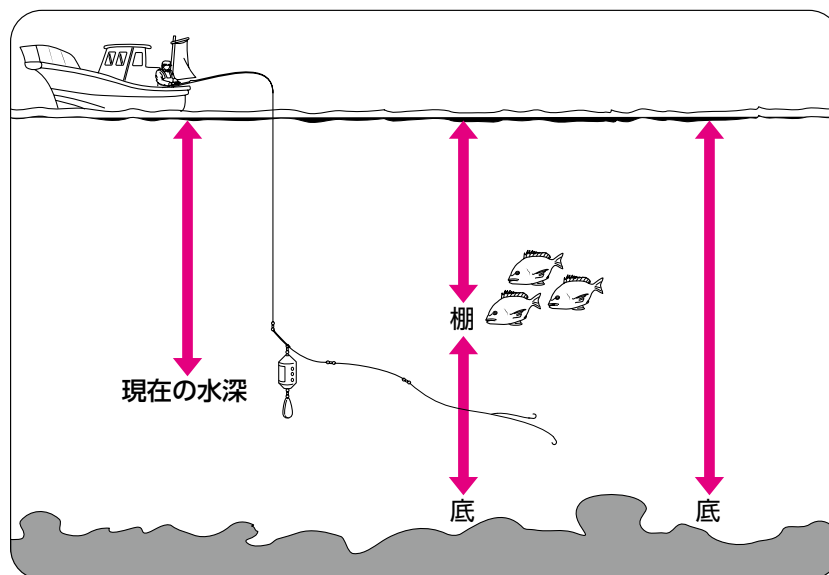
船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。

最近は高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。

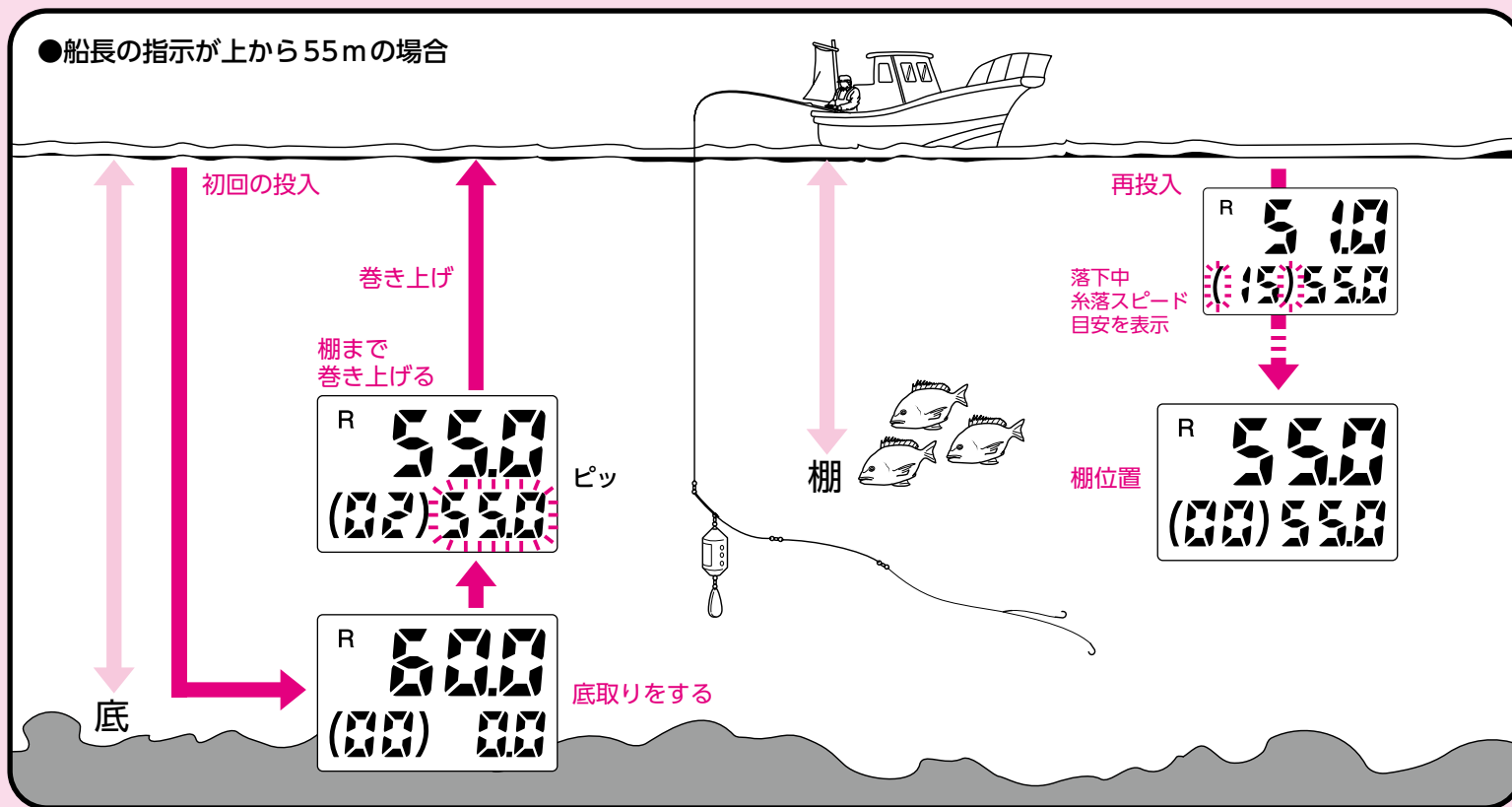
通常、船長がこの棚を教えてくれます。この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

本製品は底からの水深を確認したい場合、メモ水深の表示方法を切り替えできます。

その日の釣りに合わせて、切り替えてご使用ください。

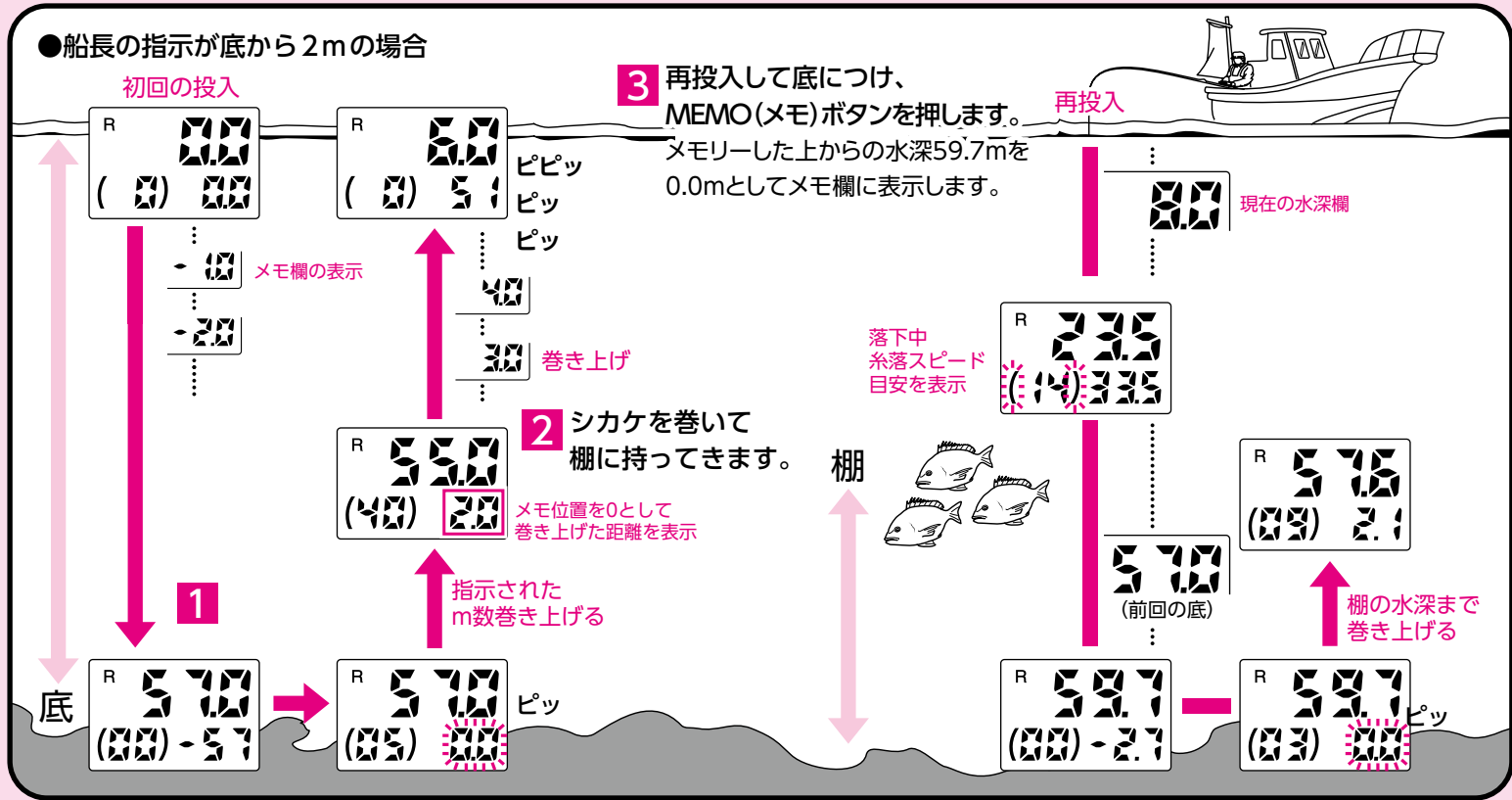


上からモードの実釣編



- 1 シカケをいったん底につけます。
- 2 シカケを巻いて棚に持ってきます。
MEMO (メモ) ボタンを押して棚をメモリーします。
以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入しメモボタンで棚をメモリーすることも可能です。
- 3 再度投入した際、メモリーした水深にシカケをおろします。

底からモードの実釣編



- 1** シカケをいったん底につけ、MEMO(メモ)ボタンを押します。メモリーした上からの水深を0.0mとしてメモ欄に表示します。リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深が確認できます。

解説!
船長の指示が「底から何m」といった場合、釣り人はシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。(通常この時にコマセを振ります。)

2通りの巻き上げ方・楽楽モードと速度一定モード



1 楽楽モードと速度一定モードの切り替え方法

- R/S ボタンを押すことにより、速度一定モードと楽楽モードの切り替えができます。(右図)巻き上げ中の操作も可能です。

現在のモードがデジタルカウンターに表示されます。

R (楽楽モード) : 緑のバックライト (「R」点灯)

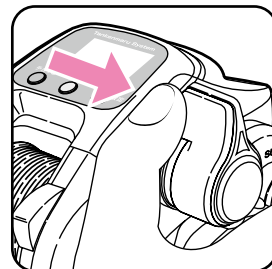
S (速度一定モード) : 赤のバックライト (「S」点灯)

2 速度一定モードとは？

巻き上げてくる対象物の大きさ、つまりリールにかかる負荷の大きさに関係なく、常に設定された速度*を保つようにモーターのパワーを自動的に調整して、一定の速度で巻き上げます。

(*速度→電動リールのスプール回転速度)

ご注意：設定値 1～4 は非常に遅いデッドスローに設定しております。オモリの負荷等により巻き上げが止まってしまうことがありますので、その場合は設定値を上げてください。



■テクニカルレバー

巻き上げパワーまたはスピードを瞬時に調整することができます。

◎テクニカルレバー設定表示

テクニカルレバーの操作時に巻き上げパワーまたはスピードを表示します。

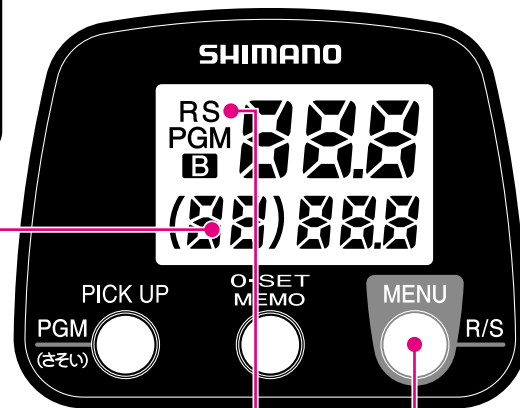
◎現在のモード

R (楽楽モード) : 緑のバックライト (「R」点灯)

S (速度一定モード) : 赤のバックライト (「S」点灯)

■R/S (楽・速) ボタン

速度一定モードと楽楽モードの切り替えができます。巻き上げ中の操作も可能です。



次ページにつづく

3 楽楽モードとは？

「楽楽モード」は、設定した巻き上げパワーを一定に保とうとする機能です。つまりラインにかかるテンション（負荷）をリールが感知して、モーターの回転速度を自動的に変化させ、常に一定のテンションを保って巻き上げます。

つまり

●モーターと魚の瞬間的な引っ張り合いを避けてくれる。	●波が荒くて竿の操作では追いつかないときにも便利。
●魚が突っ込んだり、船が急に持ち上がったときの急なテンションの上昇に応じて、モータースピードが遅くなって調節してくれる。	●ポンピングで竿をおろしたときなど、急なテンションの降下に応じてモータースピードが速くなって、シカケにたるみができない。
これなら楽だし、手巻き感覚で安心です！	

※工場出荷の初期設定は「楽楽モード」となっております。

さらにこんなメリットも…

- テンションの軽いシカケ回収の際には、ほぼ最高速で巻き上げてくるため、電動の速度調整がいらず非常に簡単便利。
- テンション設定はレバー操作で瞬時に調整可能です。
- 電動と魚の瞬間的な引っ張り合いがなくなることによって、シカケ本来の強度が得られます。

ご注意：設定値1～4は非常に遅いデッドスローに設定しております。オモリの負荷等により巻き上げが止まってしまうことがありますので、その場合は設定値を上げてください。



シカケの巻き込みを防止し、アタリをお知らせします。

フカセモード時は以下の2つの機能が有効になります。

1 仕掛巻込防止機能

フカセ釣りの様な軽負荷の釣りにおいては、シカケだけの回収、魚が掛かったの回収で負荷が大きく変わります。

電動リールの糸巻き学習は一定の負荷で回転数を記憶させているため、負荷の変動が大きいと誤差も大きくなり、ナイロン、フロロと伸びの大きい道糸を使用されますと、さらに誤差が大きくなります。時には竿の穂先にシカケを巻き込んで、穂先の破損をまねく場合もあります。

フカセモードがONの場合、穂先の巻き込みを防止するプログラムが働き、安全、快適に釣りを楽しむことができます。本プログラムは、シカケを回収している際のリールの負荷が大きいと感じた時は船べり停止を6mに設定し、負荷が軽いと感じた時は出した糸の量の10% (100m出せば10m、6m以内になるようなら6m) で船べり停止を設定します。

※どちらもカウンター表示での数字となるため、実際のメートル数とは異なってきます。20速以上でこの機能はONとなりますので軽負荷で20速未満で巻きますと、穂先に巻き込む場合もあります。

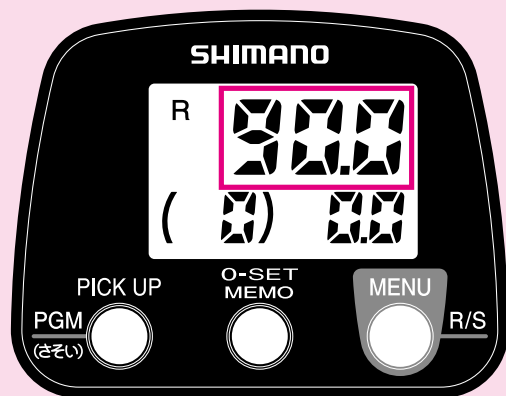
2 アタリ検知アラーム

クラッチOFFで糸を出している状態で、設定した速度よりも早いスピードで糸が引き出された時にアタリアラーム「ピッピッピッ… (3秒間)」が鳴り、アタリを知らせてくれます。また、その設定値はお客様で変える事も可能です。初期設定は“OFF”となっています。

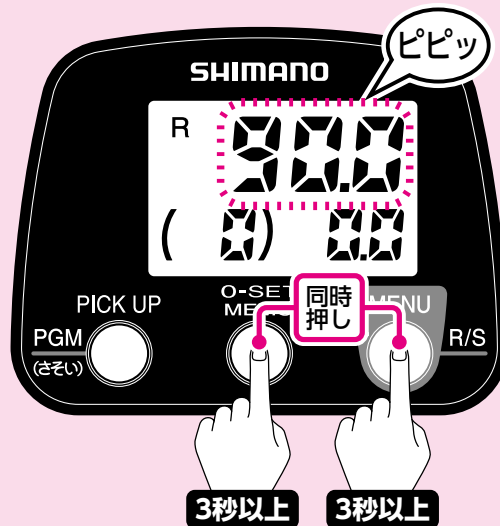
※モーターがOFFの状態でもカウンター表示20m以上の時に有効です。

糸巻学習補正

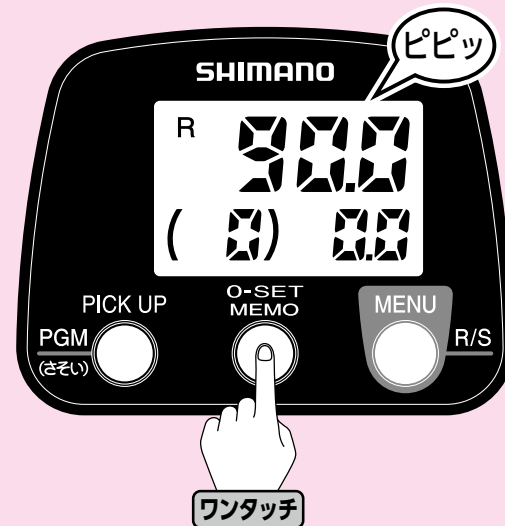
カウンターの水深と実際のラインマーカのずれを補正することでより正確な棚取りを行えます。



- 1** カウント値が10m以上の時に有効です。
現在の水深表示を切りのいい数値（少数以下を0）に合わせてください。
少数以下を0にしますとラインマーカで合わせることができます。ラインの色が変わる前後（10m単位）がより分かり易くなります。
※100mを超える場合、例えば表示が199から200に変わった所で合わせて頂くと、より正確な補正となります。



- 2** O-SET (0セット) ボタン、MENU (メニュー) ボタンを両方同時に3秒以上押すと糸巻学習補正に入ります。「ピピッ」のアラームが鳴り、水深表示が点滅します。この時、糸を手で出し入れしても表示は変わりません。
ここで、実際の糸の位置（例図の場合ですと90m）を水面に合わせてください。
※補正をキャンセルしたい場合はPICK UP (チョイ巻) ボタンを押してください。モーターの作動（補正中の巻き上げ、魚が掛かった場合等）でもキャンセルとなります。中断した場合は前回の補正値が使用されます。



- 3** O-SET (0セット) ボタンを押して補正を確定してください。「ピピッ」のアラームが鳴ります。
標準モードに戻り、補正は完了です。
現在の水深表示に補正後の水深が表示されます。

電源をOFFされましても、糸巻学習は補正されたまま記憶されます。

注意：液晶画面内の設定・数値は例として表示しています。実際と同じ設定・数値を示すわけではありません。

1

あ!
カウンターと道糸の
マーカーがずれている!!

100m

海

2

その時は
糸巻学習補正
があるよ!

どうするの?

PICK UP O-SET MEMO MENU R/S

O-SET (0セット) ボタンと
MENU (メニュー) ボタンを
3秒以上
同時に押してください。

3

水深表示が点滅し
糸を出し入れしても
動かないよ!

100m

4

そう、その時に
カウンター表示と道糸の
マーカーが同じになる様に
道糸を出し入れし、

103m

そう、その時に
カウンター表示と道糸の
マーカーが同じになる様に
道糸を出し入れし、

PICK UP O-SET MEMO MENU R/S

O-SET (0セット) ボタンを
ワンタッチ
押せば **OK!**
次からバッチリ!

お取り扱い上の注意

本製品は精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 リールのお手入れ方法

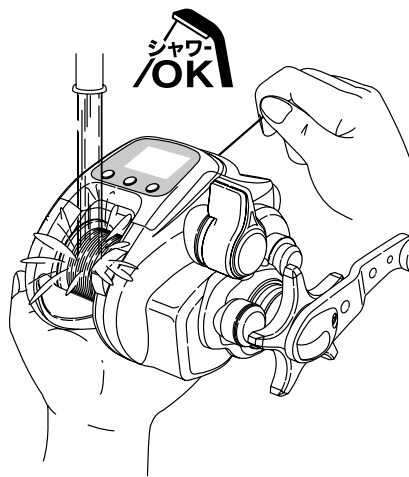
※お手入れの際には必ずケーブルを抜いて、リールを完全に冷ましてから行ってください。

1. まずドラグをしっかりと締め込んでください。
2. 水道水をリールにかけながら、リール外側の汚れをスポンジで落とします。
※水中に浸けて洗わないでください。
3. スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m 出します（図参照）これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
4. ドラグを目一杯ゆるめ、影干ししてよく乾燥させてください。

※ケーブルのワニ口部分には海水中の不純物が付着している場合がありますので、必ず真水で洗い流すか軽くブラッシングしてください。

※ベアリングの塩カミについて

S A-RB（シールド耐塩水ベアリング）はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する『塩噛み』を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、



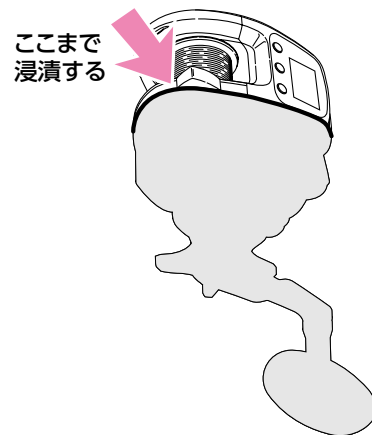
同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。解消するためには、程度にもよりますが、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、または、S A-RB ごと交換する必要があります。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。
※保管の際は必ずリールからケーブルを外して保管してください。

2 リールのお手入れ方法 (スプール回転性能に低下が見受けられた場合)

- 通常のお手入れ方法にて、スプール回転がスムーズでないと感じられた場合（リールのハンドル側ベアリングの塩カミによる場合）

※ケーブルは必ず抜いた状態で行ってください。

1. リールのハンドル側のスプールと本体の間までリールを浸水させて（右図参照・リール全体を浸水させないでください。）スプールを回転させますと、ベアリングに噛み込んでいる塩が抜けて回転性能がUPします。



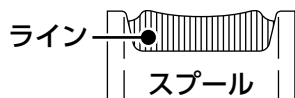
2. リールを水から引き上げてリールのコネクター側を下にして、水を排水してください。
(リール内部に溜まった水を完全に排水させます。)

上記を行っても改善が見られない場合はオーバーホールに出してください。

3 ご使用上の注意

- 電動リールの構造上、モーターがONで、糸が巻き込めない状態（魚が掛かりドラッグがすべっている状態）になることがあります。これは車に例えるならサイドブレーキを掛けたまま走ることと同じです。電動リールもこの状態を長く続けると、ドラッグ部分のオイル焼け→ドラッグ焼け→本体の破損へとつながります。くれぐれもご注意の上ご使用ください。
- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
- リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。
- リールは落としたり衝撃を与えないよう、丁寧に扱ってください。
- 船の竿立てに収められる時は、リール後部及びケーブルに衝撃を与えないよう、また、ケーブルを折り曲げないようご注意下さい。特にケーブルをリールと船べりの間にはさまないようご注意下さい。
- 偏光ガラスの種類によってカウンターの液晶画面が見にくくなる場合があります。
- 高負荷巻き上げ後に仕掛け投入して巻き上げる時は注意してください。仕掛けが穂先に巻き込む可能性があります。
- 樹脂脚を採用しているリールにおきましては、金属製リールシートでご使用されますと傷が入り、最終的に破損に至る場合がございます。パイプシート内部にリール脚保護用樹脂が装着されているかどうかご確認の上、ご使用下さい。
- スーパーフリースプールを採用しているリールにおきましては、クラッチをOFFにして糸を出す時は、レベルワインドは連動しません。ドラッグが滑っている時は、レベルワインドがスプールと同期しない場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の表示しない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

- 糸巻き形状について多少の凹凸がありますが、ご使用上何ら支障はございません。(右図はイメージです。)



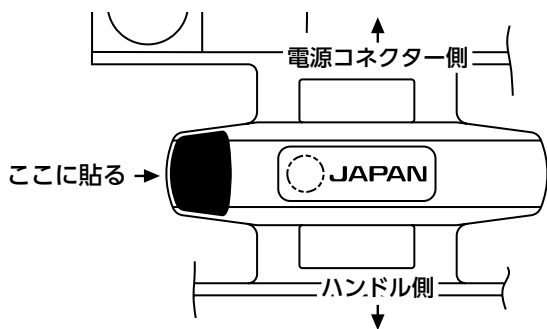
●「脚調整シート」のご使用方法

ご使用になるロッドのリールシートの形状によりましては、リールがしっかりと固定されずガタが出る場合があります。このような場合、同梱の「脚調整シート」をご利用ください。

1. リールの脚裏に挿絵の様に片側だけ(リールシートのネジフードに入り込む側)に貼っていただき、ガタが止まったかどうか確認してください。
2. 1を行ってもガタが止まらない場合は、もう片方の脚裏にもシートを貼ってください。その際、リールシートとの掛かり代が十分であるかご確認ください。3mm以上リールシート内に入り込んでいればOKです。
3. 2の様に両方に貼ってもガタが止まらない場合は、規格外となりますのでご使用をお止めください。

※ご注意

リール脚裏の両方に貼ってしまうと、リールシートとの掛かり代が少なくなり、最悪の場合、リールが外れてしまう場合があります。



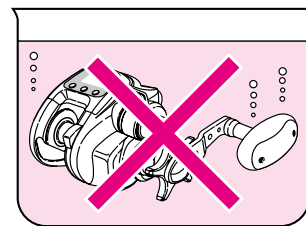
4 お手入れの方法

- 定期メンテナンス - 弊社サービスへご依頼下さい。

リールの状態は、使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、お買い上げの販売店を通じて直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。

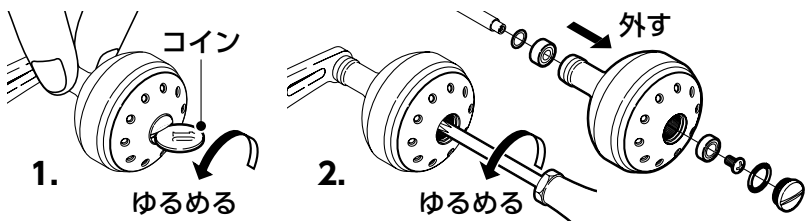
- 保管の際は必ずリールからケーブルを外して保管してください。
- リールを使用にならない時はコネクターキャップをしてください。
- リールは絶対に分解しないでください。内部にはモーター、ブレーカーなどの電気部品が入っていますので故障の原因となります。
- ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。
- 高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、前記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

- リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)



●ハンドルノブの取り外し方

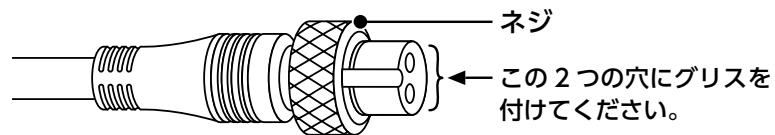
1. ノブを手で押さえながら、コインでハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ドライバーでノブ内部のボルトをゆるめて外します。



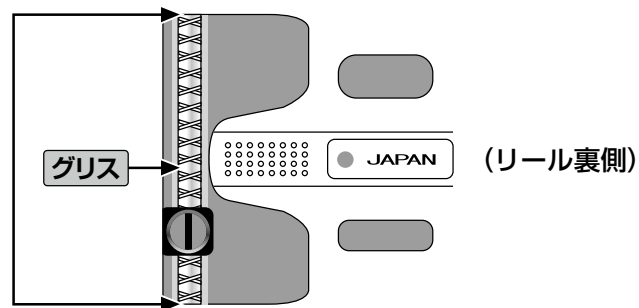
- お手持ちのリールを末永くご愛用いただけるよう、シマノリール専用グリス（下記）を使用してください。
〔図1〕、〔図2〕の箇所に付けていただくようお願いします。

シマノ純正リールグリススプレー（SP-023A）

〔図1〕 ケーブルの端子の2つの穴
リール本体側のケーブルの端子にも塗布していただくと、より効果的です。



〔図2〕 ウォームシャフトとウォームシャフト両側



5 セーフティ機能

●自動復帰ブレーカー

電動リールに過負荷がかかった場合、リールを保護するため1秒間隔でモーターがON/OFFとなりますが、異常ではありません。その状態を続けますと最終的には自動復帰ブレーカーが作動し、全表示が点滅します。

作動した際は、モーター保護のためモーターをON・OFFせずに5分以上休ませてください。(この際、ハンドルで糸を巻いたり、クラッチを切って糸を出したりしても糸巻学習は保持され、カウンターは正常に働きます。) 点滅が点灯になればブレーカーは復帰です。

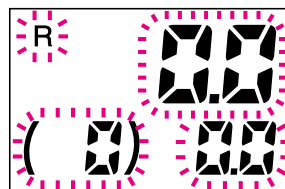
ご注意：

- ブレーカーが作動している間は、電源をOFFにした場合でも復帰されません。
- ブレーカーが作動する種類により、ブレーカー解除までに30秒～3分程度の時間がかかります。

●バッテリー検出表示

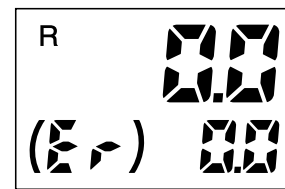
バッテリー電圧が10.5V(リチウムイオンバッテリーは13.5V)以下になった場合、またはケーブル・コネクターの接続不良がおこると、バッテリーマークが点滅します。

バッテリーマークが点滅したら、ケーブル・コネクターの接続不良がないかをお確かめください。接続不良ではない場合、バッテリー残量が少ないことが考えられます。



●テクニカルレバー断線の場合

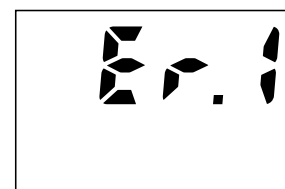
上記のエラーメッセージが出ましたら「製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内」の項目を参照していただき、修理に出してください。



※下記のE_r表示の際には糸を出したり巻いたりしないでください。糸巻学習が不正確になります。

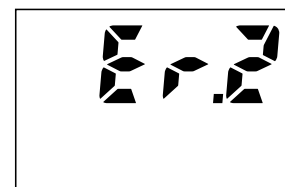
●電圧が高すぎる場合

DC28V以上の電圧がかかった場合に表示されます。ご使用の電源が12V～14.8V仕様かどうかお確かめください。



●糸巻学習操作が不正確な場合

糸巻学習操作が不正確な場合の表示です。お手数ですが、再度学習をおこなってください。



シマノ巻上力

49kg

シマノ独自の基準から算出した最大パワーによる参考値です。

実用巻上持久力

6.0kg

長時間耐久維持できる巻き上げ力
実用巻上持久力とは負荷をどんどん増やしていった際に、最終的に電動リールのブレーカーが作動したときの負荷を表示したものです。

最大ドラグ力

10kg

シマノの船リールで表示している最大ドラグ力は、人間が片手で締め込める力を25kg・cmとし、そのときのドラグ力を最大ドラグ力と表現しています。

最大巻上速度

190m/分

無負荷時の巻き上げ速度の値です。

実用巻上速度

1kg (負荷)	2kg (負荷)	3kg (負荷)
145m/分	137m/分	128m/分

水深100mのシカケ回収に要する時間
実用巻上速度とは、たとえば1000番のリールならPE4号糸を300m巻いた上で100m引き出し、指定の負荷を掛けてMAXで巻き上げます。
その時にかかった時間を速度に変換した値です。
測定条件：◎電源は13V◎常温15～20℃（リチウム等高電圧の電源を使用されますと、さらにハイスピードになります。）※データは使用環境条件等で若干変動する場合があります。

品番	ギア比	自重 (g)	糸巻量(号-m) PE [パワープロポートゲーム]	糸巻量(号-m) フロロ	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	スプール寸法 (径mm/ 幅mm)	ハンドル長 (mm)	ベアリング数 (S A-RB/ボール /ローラー)
800	5.1	615	3-300 4-250 ※ 3-200	4-300 5-230 6-180	70	44/28.8	60	6/2/1
1000	5.1	615	3-400 4-300 5-200 ※ 3-300	5-270 6-200	70	44/33.4	60	6/2/1

* 糸巻量の太字は、スプールの下巻きライン部まで下巻きをした場合です。

- 標準付属品
ケーブル1本、取扱説明書、分解図、糸通しピン、保証書、脚調整シート2枚

- 電源（直流）
DC12V（リチウムイオンバッテリー可）

- 夢屋パーツ取り付け可能

ハンドル	ハンドルノブ
BH-3, BH-4, BH-5	B

- ご注意
PE3号以下を使用される場合は糸を巻きすぎたり、バックラッシュ等を行いますと糸が細いため、スプールとフレームのすき間に入り込んでしまう場合がありますので注意してください。

故障かな?と思われたときは

こんなとき	操作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が表示しない。	バッテリーとケーブルの（+）（-）とが正しく接続されているかをお確かめください。 バッテリー容量が不足していないか、ご確認ください。 ケーブルのワニ口部分に不純物が付着していないかご確認ください。	P.18～19
液晶が表示しない。（極寒で使用の場合）	液晶の特性上-15℃以下で放置されますと、電源をつないでもしばらくの間表示しません。 （電源がONの状態になり、カウンター内部の基板が温まれば表示されます。） 極寒で使用される場合、船がポイントに着くまでは電動リールをキャビンに入れてもらうかカバーを付け、保護することをおすすめします。	
糸巻学習がセットされない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.20～35
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.20～35
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.20～35
カウンター表示と、糸の水深色分けとが一致しない。	糸の種類により、程度の差はありますが、使用中に糸が伸びることによりカウンターの表示との間にズレを生じる場合があります。	
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での0セットを行なってください。 また、入力可能な船べりセットは、1m～6m未満の範囲です。 0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定しています。	P.40～41 P.43
液晶表示はするがモーターが作動しない。	バッテリーの容量が十分かどうかご確認ください。 ※モーターが低速では作動するが、高速では作動しない場合もバッテリーの容量不足が考えられます。バッテリーを充電のうえ、ご確認ください。なお、充電しても正常に作動しない時は、バッテリー寿命が考えられますので、新しいバッテリーと交換し、再度ご確認ください。 リールが低温（0℃以下）になりますと、モーターが作動しなくなる場合があります。 極寒で使用される場合、船がポイントに着くまでは電動リールをキャビンに入れてもらうか、電源ONしておいてください。 また、カウンター1m以内では安全のためモーターは作動しません。	P.16 P.18～19

《次ページに続く》

こんなとき	操作	参照
巻き上げ中にモーターが停止する。	電源コネクターのネジがしっかりと締め付けられているかご確認ください。船電源の端子や、リールやケーブルのコネクター部分がサビしていると、通電不良を生じます。サビを落としてからもう一度ご確認ください。また、バッテリー容量が不足していないか、ご確認ください。	P.18～19
電動リールから、巻いていないのに変な音がする。	不安定な電源から電動リールを守る為に、デジタルカウンター内部にコンデンサーを入れています。ご使用されています電源が不安定な状況下（ノイズ等や電圧降下）では、このコンデンサーが振動し音が聞こえる場合がありますが、リール機能には一切支障はございませんので安心してご使用ください。	
カウンターにErの文字が表示される。	セーフティ機能に基づくエラーメッセージです。「セーフティ機能」のページをご確認ください。	P.58
電源投入時に英数字が2秒間表示される。	識別のための表示で、故障ではございません。表示内容は機種ごとに異なります。	

釣りを楽しく行っていただくために、釣行前には必ず電源を入れて本製品が正常に作動することをご確認くださいませますようお願いいたします。

(1.1m 以上糸が出た状態にならないとモーターは作動しません。)

以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買い上げになった販売店にお預けください。その際に故障内容をできるだけ詳しくお伝えください。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。
手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

- 修理に出されるときには保証書と製品、ケーブルをお持ちになり、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。
その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。

修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

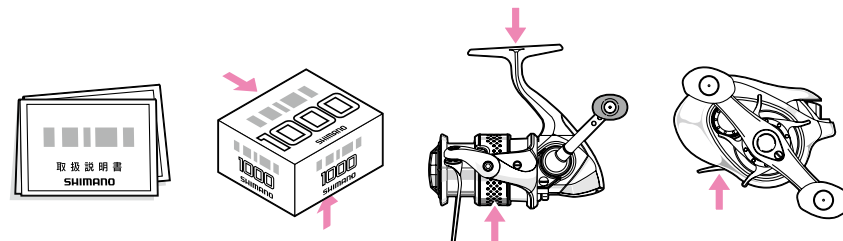
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。
（内部の部品に關しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。）

例／製品名 : PLAYS 1000
商品コード : 02913
製品コード : 5RG421000
部品番号 : 2
部品名 : ハンドル

- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地 TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ 中四国営業所

〒700-0941 岡山県岡山市南区青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●探見丸システム、商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ) をご利用ください。

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00(土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。

また、カタログのお申し込みも受け付けています。

SHIMANO